



TOSTEM リプラス 居室仕様 EWタイプ 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

⚠ 注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

！注意



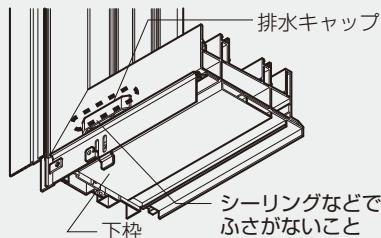
- 本製品は、製品重量が最大で250kg(ガラスなしで60kg)となります。製品を運んだり、取付ける場合、重量に見合った人数で作業を行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 枠を軸体に固定してから障子を建込んでください。下枠の垂下がりや障子落下のおそれがあります。
- 障子の建込み・建付け調整後、必ず召合せの外れ止めを上げてください。障子落下のおそれがあります。



- サッシ枠等を切断した際には、切断した面のバリ取りを行ってください。切断面でケガをするおそれがあります。



- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、枠と軸体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出て取付けてください。
 - ・枠の上下を確認して正しく取付けてください。
 - ・排水キャップの排水穴はシーリングなどでふさがないでください。



- 漏水の原因となりますので下記事項をお守りください。

- ・既設サッシ枠が別体連窓、別体段窓、なげし無目の場合は、取付け出来ません。
- ・指定箇所へは、必ず気密テープを張付けてください。
- ・L型クランプは水平に掛けて、止水材がつぶれるまでクランプしてください。
- ・既設サッシ枠と新設サッシ枠の間を気密テープで浮き・すき間なくふさいでください。重ね合わせやつぎ足す場合は10mm以上重ねてください。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容
1	指定箇所へ気密テープは張付けされているか、また、気密テープに浮きやすき間はないか
2	L型クランプを使用して止水材がつぶれるまでクランプして施工したか
3	障子の建付け調整、外れ止めはされているか

●2次元コードにアクセスいただくと、施工説明動画をご覧いただけます。動画は参考例になります。必ず説明書の手順を実施してください。



居室仕様
施工説明動画



サイド化粧
カバー
施工説明動画

取付け上のお願い

- 新設サッシ(梱包品・完成品とも)は直射日光を避け、建物内の風通しのよい場所に保管してください。
 - 樹脂は熱により変形するおそれがありますので、炎天下の屋外に放置しないでください。
 - 樹脂の表面は傷つきやすいので、ぶつけたり、こすったりしないでください。
 - 樹脂部材をねじ止めする場合は、締めすぎないようにしてください。樹脂が割れたり、ねじが貫通するおそれがあります。
 - シーリング材はシリコーン系・変成シリコーン系・ウレタン系が使用できます。ポリサルファイド系はサッシが変色するおそれがありますので、使用しないでください。なお、サッシとの接着性を高めるために、必ず指定のプライマーを使用してください。プライマーを塗布後プライマーを十分乾燥させてからシーリングを行ってください。プライマーの溶剤成分が残り表面のひび割れやハガレが発生するおそれがあります。
 - 指定箇所のシーリング材は下表のシーリング材を使用してください。下表のシーリング材以外を使用されると、表面のひび割れやハガレが発生するおそれがあります。
- ※下表のシーリング材は、弊社試験確認済みの物です。

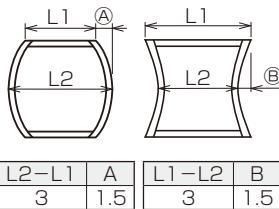
メーカー名	製品名	種類	プライマー
オート 化学工業 (株)	オートンイクシード	1成分形 ポリウレタン系	OP-2019
	オートン超耐シーラーTF2000		
	オートンサイディングシーラント		
サンスター 技研(株)	ペンギンシール 2550TypeNB	1成分形変成 シリコーン系	US-3
	ペンギンシール2550HM	1成分形変成 シリコーン系	
	ペンギンシール2550LM	1成分形変成 シリコーン系	
	ペンギンシール 2570TypeNB	2成分形変成 シリコーン系	
	SUNSTAR Penguin サイディング/ ALS用シーリング	1成分形変成 シリコーン系	
セメダイン (株)	POSシールマルチ ノンブリード	1成分形変成 シリコーン系	MP-1000
横浜ゴム (株)	Hamatite SC-PU2NB	2成分形 ポリウレタン系	NO.30
旭トシステム 外装(株)	AT-WALL窯業サイディング 純正シーリング変成シリコーン (VSLM5、VSL3、VSLF3)	1成分形変成 シリコーン系	VPM100F
	AT-WALL窯業サイディング 純正シーリングウレタン系 (VSLNK32N)	1成分形 ポリウレタン系	VPM150AN
	Danサイディング 純正シーリング (WHTR、WEYBA、WEYBB)	1成分形変成 シリコーン系	サンスター 技研(株) US-3
サンライズ (株)	SRシールS70ノンブリード	1液変性 シリコーン LM専用プライマー	
	SRシールH100		

※清掃が必要な場合は、ノルマルヘキサンを使用してください。それ以外の有機溶剤は使用しないでください。サッシの変色や、表面のひび割れ、ハガレが発生するおそれがあります。

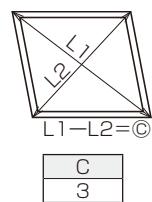
- 軸体に固定する際に、サッシ枠が右記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。
- 障子外周部には柔軟性のある気密材を取付けています。傷つきやすいので、ぶつけたり、ひきずったり、直置きをしないでください。

- 軸体に固定する際に、サッシ枠が下表の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

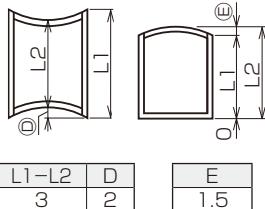
■サッシ枠の フクレ・ツヅミ



■サッシ枠対角差



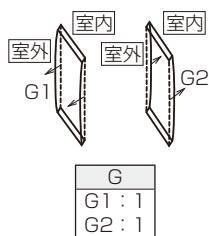
■サッシ枠の 内反り・外反り



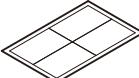
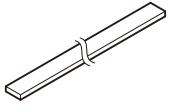
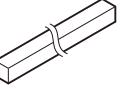
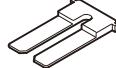
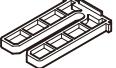
■サッシ枠のねじれ



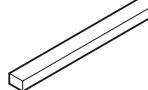
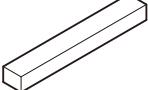
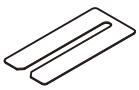
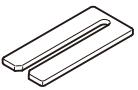
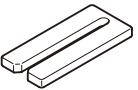
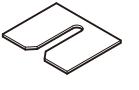
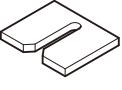
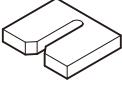
■サッシ枠の 室内外の反り



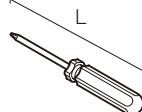
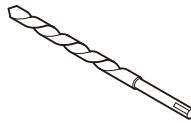
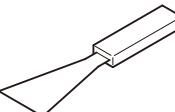
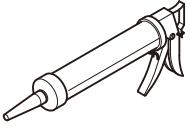
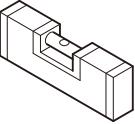
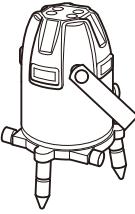
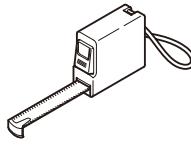
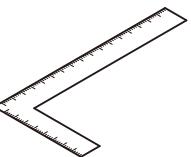
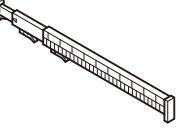
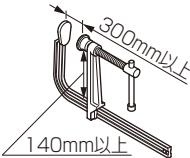
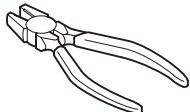
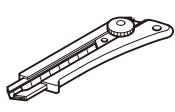
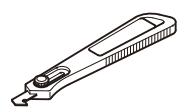
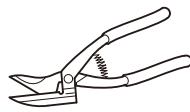
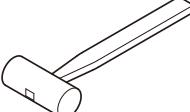
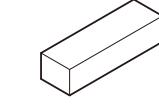
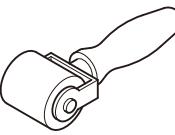
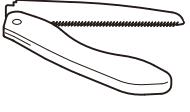
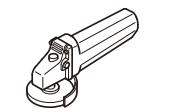
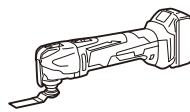
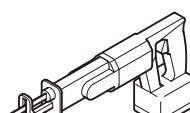
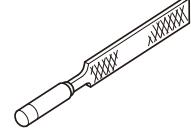
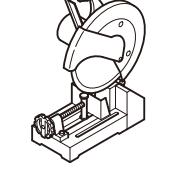
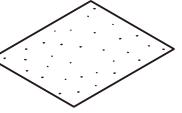
■部品一覧

枠躯体取付けねじセット	プッシュボタンセット	枠コーナーブロックセット		
		 枠コーナーブロック上 ※標準仕様の場合のみ		 枠コーナーブロック取付けねじ 皿バーリングドリルねじΦ4×16 (D6)
下枠補強金具固定ねじセット	コーナーシールセット	止水材(標準仕様の場合)	断熱材(上枠用)	断熱材(縦枠用)
		 巾8×厚さ2×長さ2000	 18×60	 15×15
化粧カバー取付けねじセット				
				
化粧カバー取付けねじ なべ小ねじM4×6 (D7)				
縦枠スペーサーセット				
				 上枠スペーサーセット (厚さ23mm / グレー色)
既設上枠ベース材取付けねじセット(内嵌め仕様の場合)				
		※ 	※ 	※ 
先付け既設上枠ベース材 取付けねじ(既設枠) 皿バーリングドリルねじ Φ4×13 (D7)	後付け既設上枠ベース材 取付けねじ 特平バーリングドリルねじ Φ4×15または18 (D7.9)	調整スペーサー(厚さ5mm)	調整スペーサー(厚さ3mm)	調整スペーサー(厚さ1mm)
※既設外付を選択している場合、既設上枠ベース材セットに同梱されています				

●有償品

施工調整スペーサー角材		
		
施工調整スペーサー 角材 10×15	施工調整スペーサー 角材 20×30	施工調整スペーサー 角材 30×40
アクリル系気密テープ		
		
幅50mm×20m巻	幅75mm×20m巻	幅100mm×20m巻
枠施工スペーサー		
		
調整スペーサー(厚さ1mm)	調整スペーサー(厚さ3mm)	調整スペーサー(厚さ5mm)
枠施工スペーサー小		
		
調整スペーサー小(平板 厚さ1mm)	調整スペーサー小(平板 厚さ3mm)	調整スペーサー小(平板 厚さ5mm)

■取付けに使用する工具一覧

電動ドライバー	ドライバー(手回し)	ドリル刃	ヘラ	シーリングガン	水準器
 トルク調整付 サイズが小さい場合は、Lの小さいドライバーをご用意してください。 ※ビットの長さは100mm以上必要です。		 φ2.0			
レーザー墨出器	下げ振り	スケール	差し金	直尺	伸縮スケール
					 ※1
L型クランプ	ペンチ	くい切り	カッター	Pカッター	はさみ
※2  300mm以上 140mm以上		※4 			
金切ハサミ	木づち	当て木	ローラー	非金属用のこぎり	ディスクグラインダー
※4 					 ※3
マルチツール	レシプロソー	ヤスリ	切断機	シーリング材	布やすり (推奨粒度400以上)
※3 	※3 		※4 	 变成シリコーンをご使用ください。 ※一部、指定のシーリング材をご使用いただく必要があります。	

※1：開口内々を1人で測定する際に使用します。

※2：新設サッシ枠を固定する際に使用します。

※3：カバー部が干渉する際に使用します。

※4：必ず使用するものではありません。

■専用枠の施工

■標準仕様の場合

①既設サッシの準備	P.6,7
②無目・方立の加工	P.8
③気密テープの張付け	P.9
④コーナーシールの張付け	P.10
⑤コーナー部のシーリング処理	P.10
⑥新設サッシ枠の切断(該当する場合)	P.11
⑦既設サッシ縦枠への止水材の張付け(半外・外付枠の場合)	P.11
⑧枠コーナーブロック上・下の取付け	P.12
⑨新設サッシ枠の建込み	P.12
⑩新設サッシ枠の仮固定	P.13
⑪新設サッシ枠の取付け	P.14
⑫下枠補強金具の調整と固定	P.15
⑬枠断熱材の取付け	P.15
⑭気密テープの張付け	P.16
⑮化粧カバーの取付け	P.17,18

■内嵌め仕様の場合

①既設上枠ベース材の取付け	P.19
②枠コーナーブロック下の取付け	P.20
③化粧カバー縦の取付け(特小の場合)	P.20
④新設サッシ枠の建込み	P.21
⑤新設サッシ枠の仮固定	P.21
⑥新設サッシ枠の取付け	P.22
⑦下枠補強金具の調整と固定	P.23
⑧枠断熱材の取付け	P.23
⑨気密テープの張付け	P.24
⑩化粧カバーの取付け(大・中・小の場合)	P.25,26
⑪化粧カバーの取付け(特小の場合)	P.27

■有償品の取付け

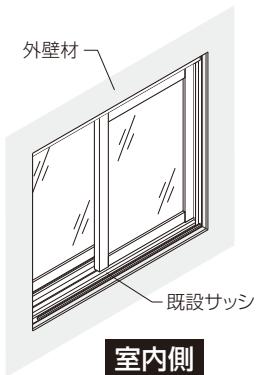
①サイド化粧カバーの取付け	P.28~32
②室内仕上げ材の取付け(カバー用ケーシング納まりの場合)	P.33~35

■新設障子のガラスの入れ方・建込み・取付け、建付け調整	P.36~39
-----------------------------	-------	---------

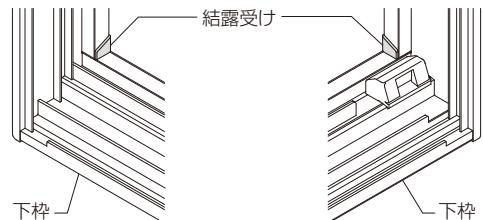
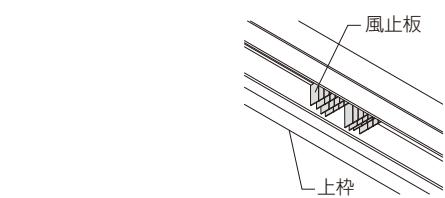
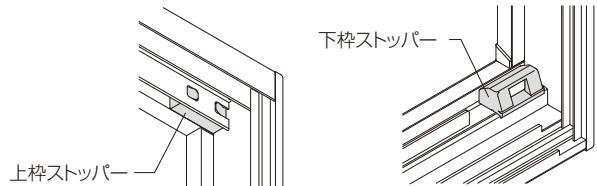
①既設サッシの準備

■部品の取外し

①既設サッシの障子を取り外します。



②既設サッシ枠に付いている部品(上・下枠ストッパー、風止板、結露受けなど)を取り外します。

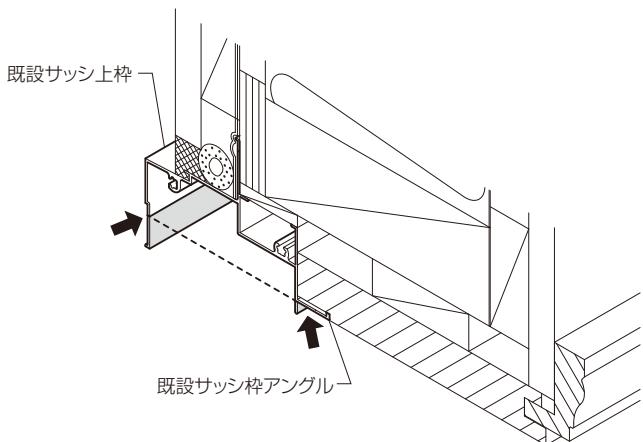


■既設サッシの準備(つづき)

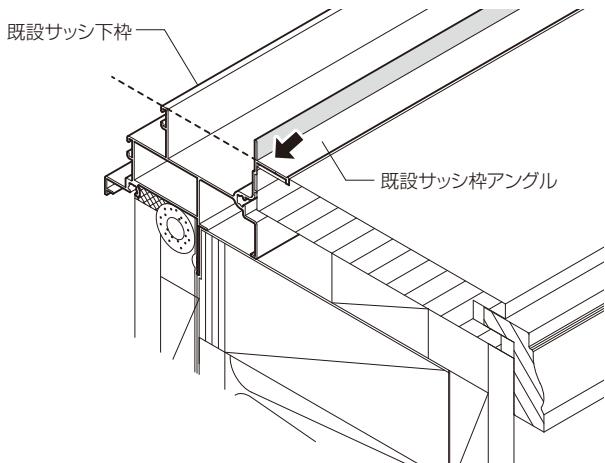
●装飾窓の場合

既設サッシ枠アングル(採寸箇所)から飛び出している箇所を切断してください。

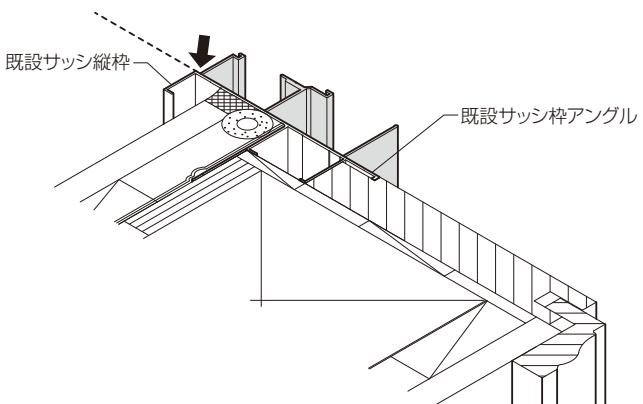
●上枠部



●下枠部



●縦枠部



●無目・方立の場合

▲注 意

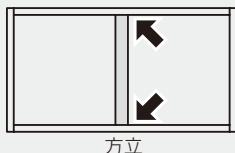


●既設サッシ枠が別体連窓・別体段窓、なげし無目の場合、対応は出来ません。漏水の原因になります。



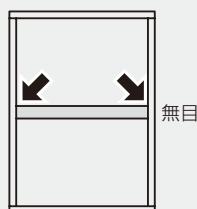
上下枠、縦枠が一本で通っているため対応可能

一体連窓



方立

一体段窓

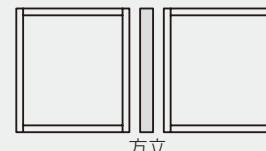


無目



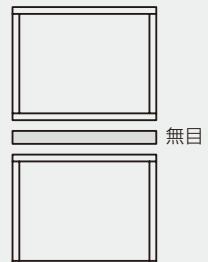
方立・無目をカットすることにより、軸体漏水の原因になるため、対応不可

別体連窓



方立

別体段窓



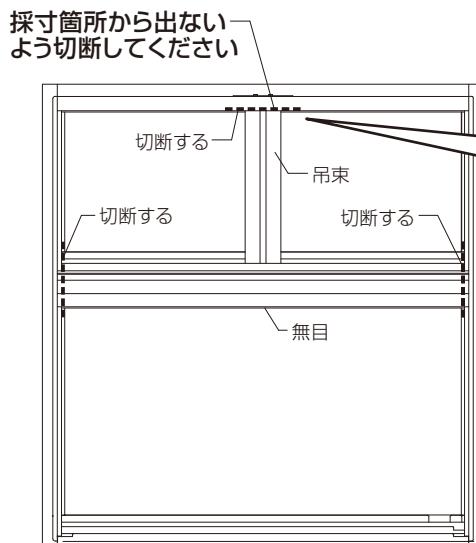
無目

②無目・方立の加工

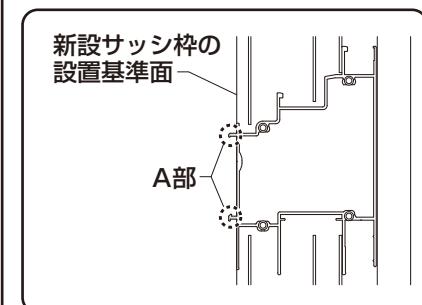
①ランマ付(段窓)引違い窓の場合は、無目・吊束をレシプロソーなどで切断してください。

※切断時は切粉が出るので、サッシまわりを養生してください。

※新設サッシ枠取付け時に干渉しないよう、切り残り部は、採寸箇所から出ないように切断してください。

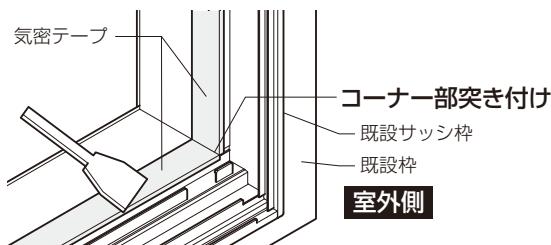


新設サッシ枠の設置基準面より出ている突起形状がある場合は、取り除いてください。



③気密テープの張付け

既設枠から窓枠に気密テープを浮き・すき間なく張付けてください。

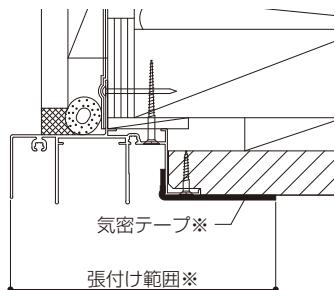


張付け範囲(mm)	149~154
-----------	---------

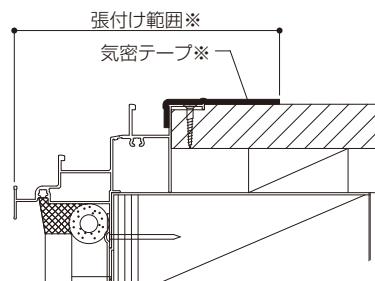
推奨気密テープ幅(mm)	100
--------------	-----

【アングル付き枠の場合】

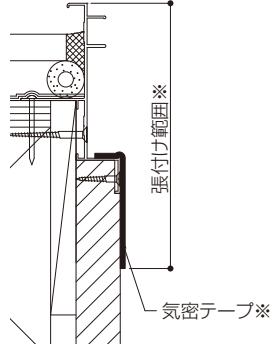
●上枠



●下枠

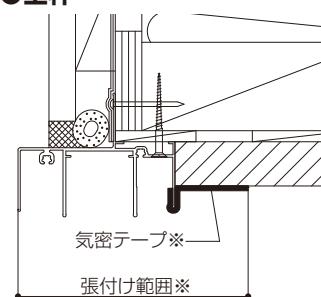


●縦枠

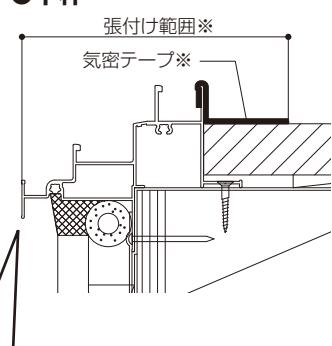


【アングル無し枠の場合】

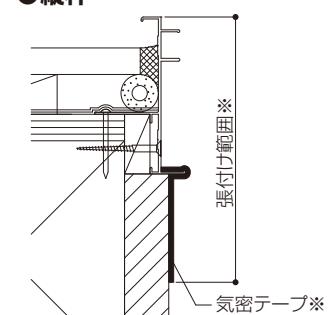
●上枠



●下枠

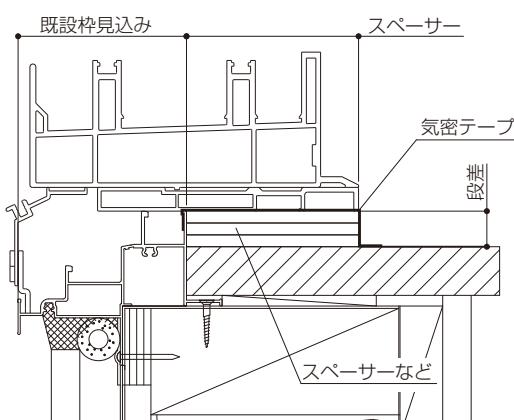


●縦枠



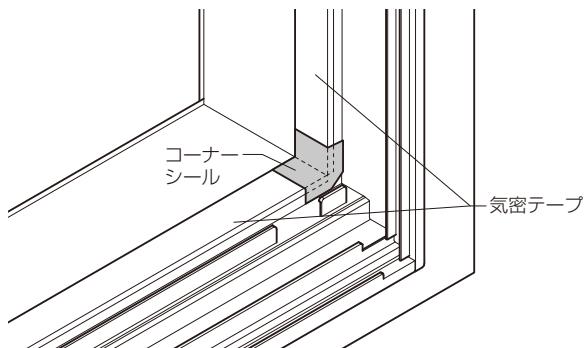
※下枠で既設窓枠と5mm以上の段差がある場合、気密テープを張りやすくするため、段差分にスペーサーを通して入れてください。

※室内樹脂カバーを使用する場合は、新設サッシ枠よりスペーサーを室内側に出さないでください。あとから取付ける室内樹脂カバーがおさまらなくなります。



④コーナーシールの張付け

コーナー部の四隅にコーナーシールを、先に張った気密テープから室内側にはみ出さないように、室内側から室外側へ向かって張付けてください。



⑤コーナー部のシーリング処理

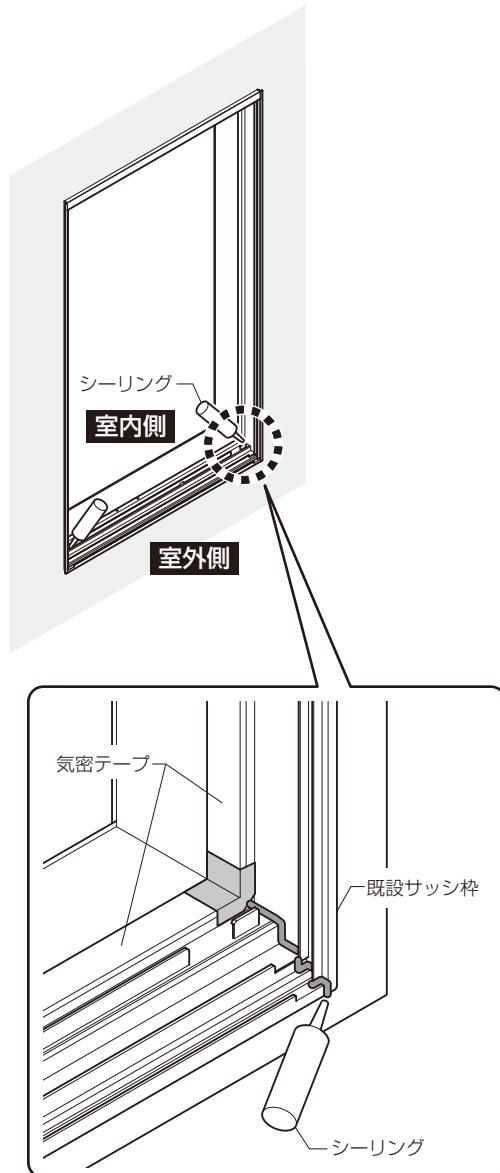
お願い

※シールの密着性を保つため、シーリング処理部は汚れ・油分などなきよう、拭き取り・清掃をしてください。

既設サッシ枠のコーティングシーラーが劣化している場合があるため、既設サッシ枠のコーナー部にシーリング処理してください。

シーリング材専用のプライマーを使用してください。

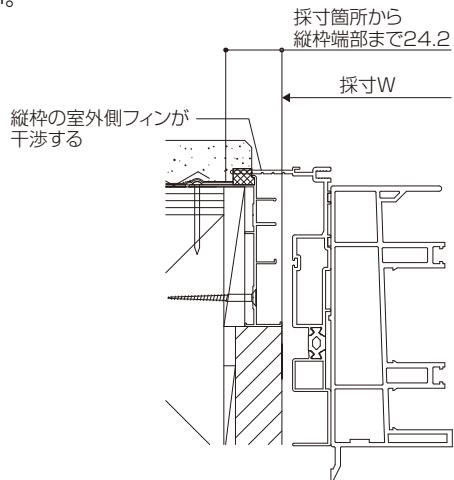
シーリングはコーナーシールの手前までとしてください。



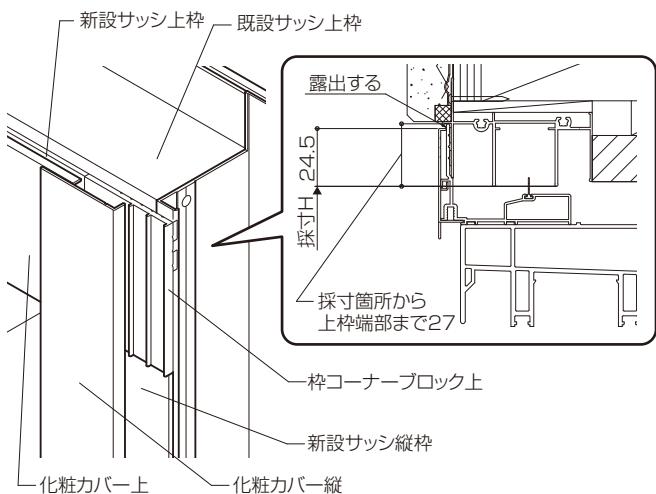
標準仕様の場合(内嵌め仕様の場合はP.19へ進んでください)

6 新設サッシ枠の切断(該当する場合)

- 外壁などに干渉する場合は、納まりに応じて切断してください。

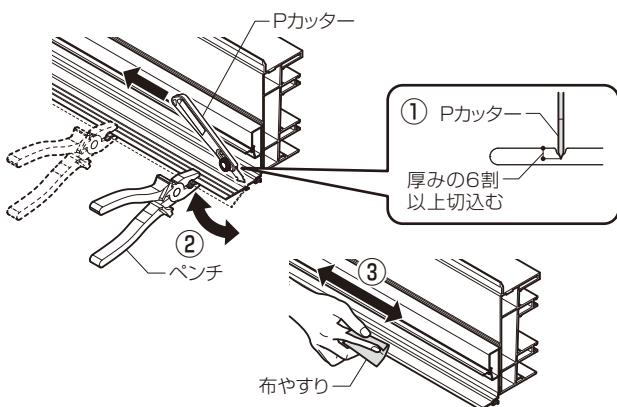


- 化粧カバー小を選択している場合、納まりによって新設サッシ枠が化粧カバーから露出する事があります、必要に応じて新設サッシ枠と枠コーナーブロック上を切断してください。



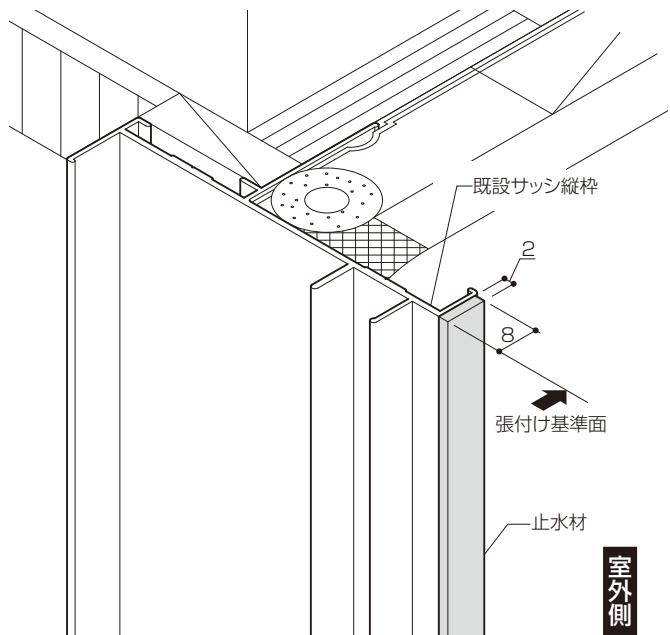
●切断手順

- ①新設サッシ枠の裏面にある溝に合わせてPカッターで部材全長に数回切込みを入れます。
※アルミ形材の厚みの6割以上切込んでください。
- ②ペンチなどで端部から折り曲げをくり返して折り取ってください。
- ③切断した面を、布やすり(推奨粒度400以上)で研磨し、バリ取りを行ってください。



7 既設サッシ縦枠への止水材の張付け (半外・外付枠の場合)

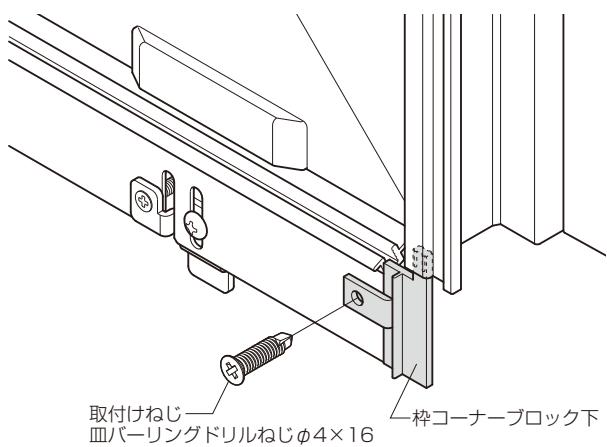
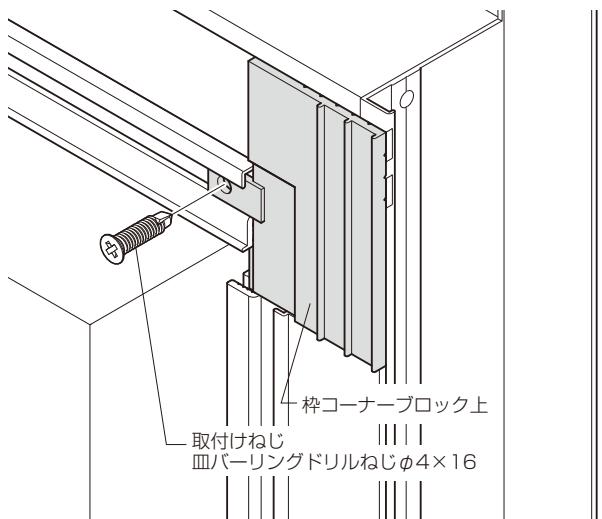
同梱の止水材を、既設サッシ縦枠外面に「張付け基準面」から通しで張付けてください。



標準仕様の場合

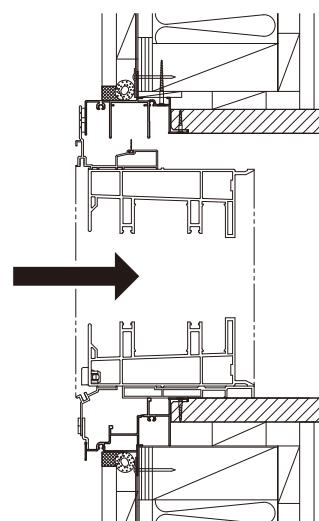
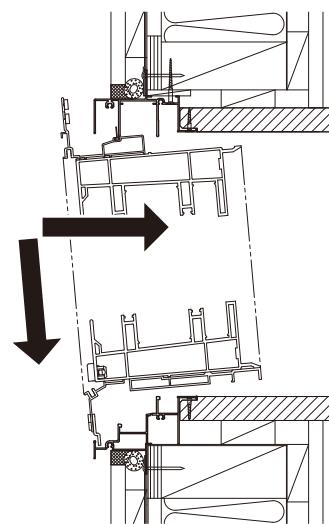
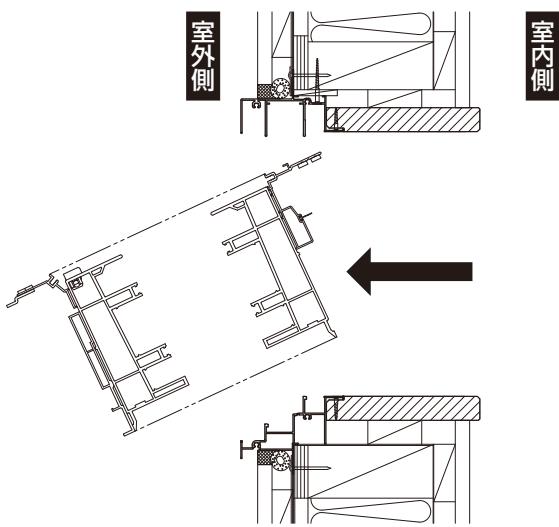
⑧枠コーナーブロック上・下の取付け

枠コーナーブロック上・下を上枠端部と下枠端部にねじ止めしてください。



⑨新設サッシ枠の建込み

新設サッシ枠を既設サッシ枠開口部から振り出し、下側を先に建込み、次に上を室内側にたおすように建込んでください。



標準仕様の場合

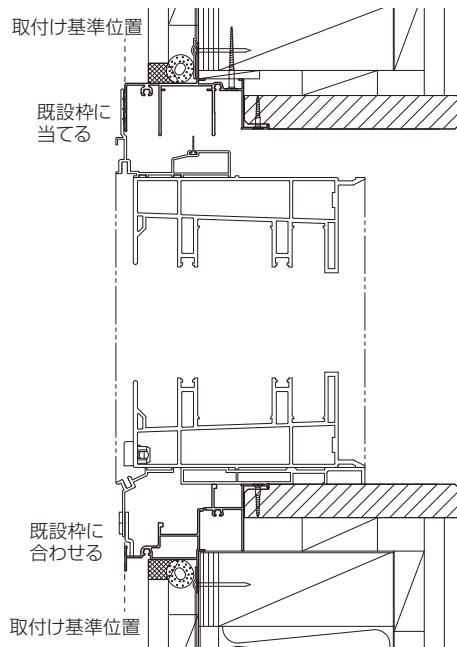
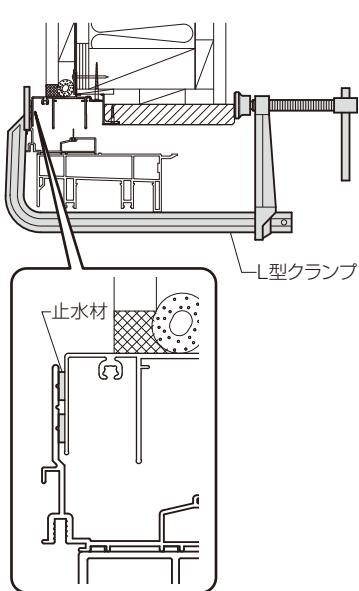
④新設サッシ枠の仮固定

▲注意

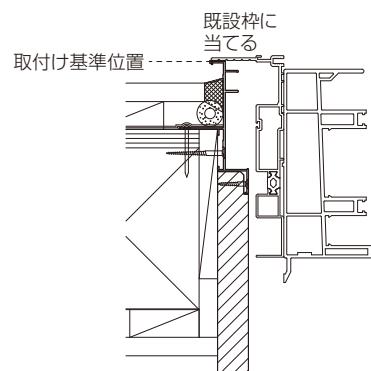


●L型クランプは水平に掛けて、上枠の止水材がつぶれるまでクランプしてください。クランプがゆるいと漏水の原因になります。

既設サッシ枠に対し、左右のチリを確認し、上枠の止水材がつぶれるまでL型クランプで仮固定してください。



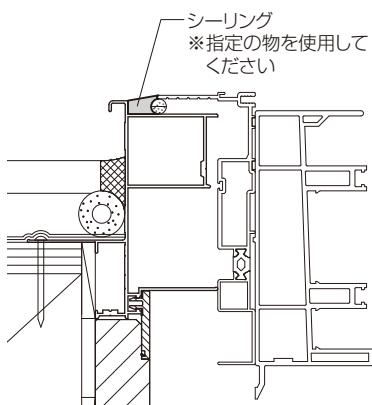
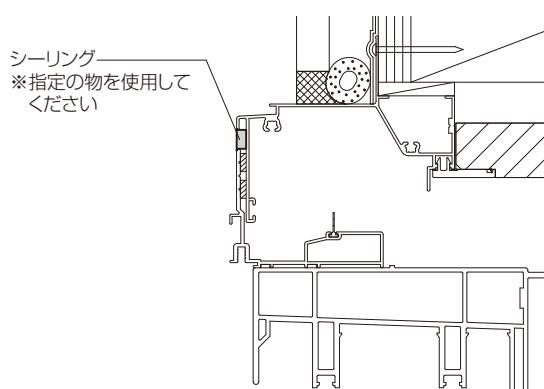
取付け基準位置に新設サッシ枠を当ててください。
垂直が出ていない場合は、レーザー墨出器や下げ振りなどで見込みを測定し、垂直調整してください。



※既設サッシ上枠に上枠の止水材があたらない場合や、既設サッシ縦枠に張付けた止水材に縦枠があたらない場合は、シーリング処理してすき間をふさいでください。(既設サッシ縦枠に張付けた止水材は、はがしてください。)

※シーリング材は、P.2に指定のものをご使用ください。

※既設サッシ下枠と新設サッシ下枠の間は排水経路になるため、シーリング処理はしないでください。



標準仕様の場合

①新設サッシ枠の取付け

お願い

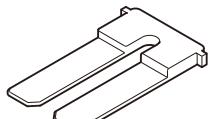
※枠の立上がりと近い場所にねじを固定するため、長いドライバービットを使い、枠を傷つけないようにしてください。
※縦枠、上枠のねじ固定部は締め終わりを目視できません。
ねじが貫通しないようにご注意ください。(25mm程度ビットが入り込むとねじが固定されます。)

下枠の水平が出ているか確認し、水平が出ていない場合は、スペーサーなどで調整してください。
スプーンねじで縦枠を仮止め、垂直調整後、縦→下→上の順にねじ止めしてください。
※ねじ打ちで新設サッシ枠が外にズれないようにクランプを掛けて取付けしてください。
※ねじ打ちの際には水平・垂直を見ながら必要に応じてスペーサーを入れて取付けしてください。

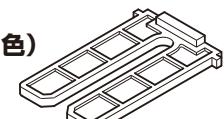
●縦枠部

【縦スペーサーの種類】

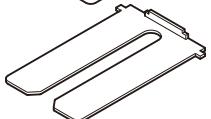
ベーススペーサー
(厚さ 1mm / グレー色)



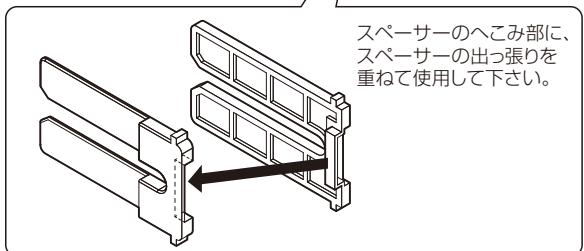
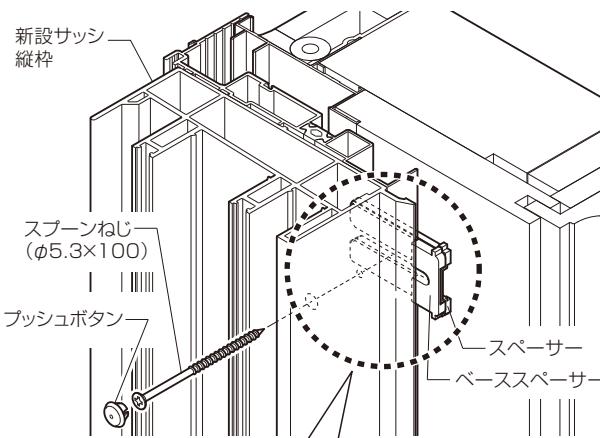
スペーサー
(厚さ 3、5mm / ブラック色)



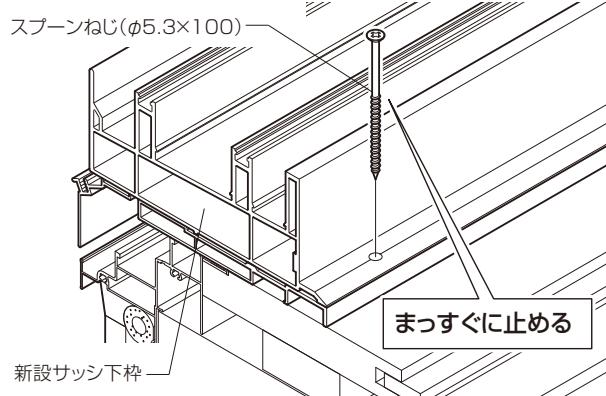
スペーサー
(厚さ 1mm / グレー色)



- ①軸体ねじを差し込みます。
- ②新設枠と軸体の間にベーススペーサーを入れます。
- ③ベーススペーサーと軸体の間にすき間が無くなるように1、3、5mmのスペーサーをベーススペーサーに重ねて調整しながら取付けます。
- ④軸体ねじを本固定します。
- ⑤ねじ固定後、プッシュボタンを取付けます。

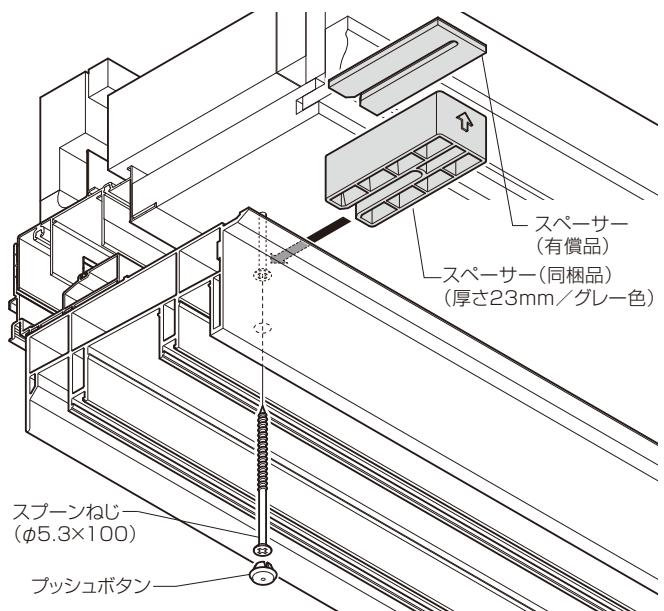


●下枠部



- ①軸の穴加工に合わせて、軸体に対しまっすぐにねじを止めます。

●上枠部



- ①軸体ねじを仮止めします。
- ②上用スペーサーを矢印の向きが上になるように差し込んでください。
- ③すき間が空いている場合には、スペーサー(有償品)を追加してください。
- ④軸体ねじを本固定します。

標準仕様の場合

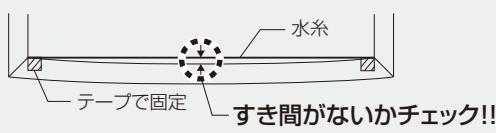
図下枠補強金具の調整と固定

▲注 意



●下枠に下がりがないように取付けてください。障子が落下するおそれがあります。

ポイント 網戸レールに水糸を張ると水平が出しやすくなります。

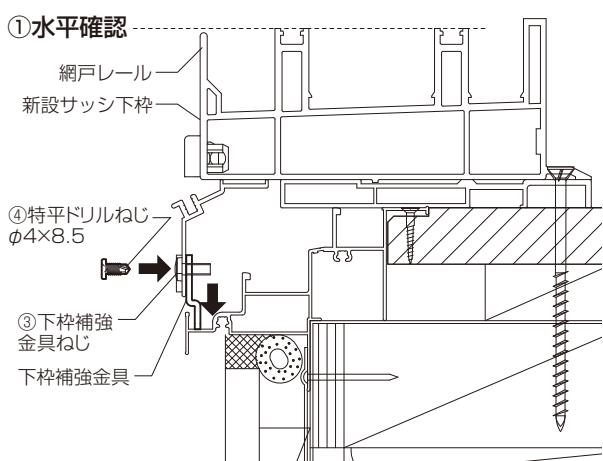


①新設サッシの見込み面が水平になること、②下枠の長手方向に下がりが無いことを確認しながら、③下枠補強金具のねじを緩め高さ調整してください。

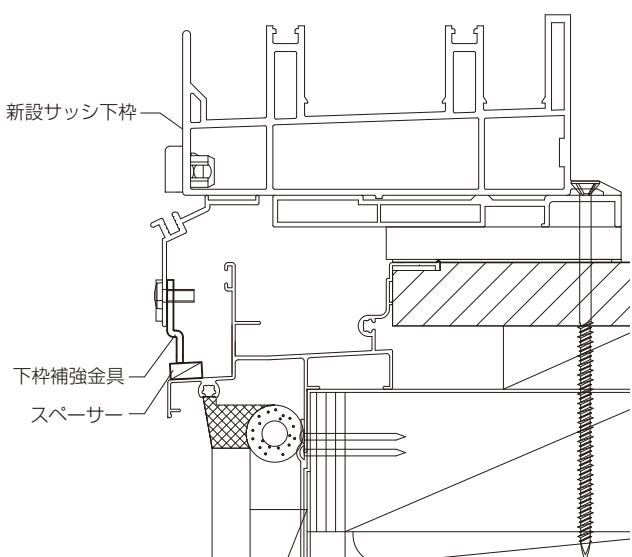
水平方向(①)については水準器で確認し、長手方向(②)の水平については、網戸レールに水糸を張って確認をするかレーザー墨出し器で確認を行ってください。

位置が決まったら、④特平ドリルねじで本固定します。

①水平確認



※下枠補強金具の調整範囲を超える場合は、スペーサーなどで補強金具を受けるようにしてください。



図枠断熱材の取付け

上枠、縦枠のサッシと軸体の間に断熱性を高めるための断熱材を差し込みます。

①縦枠と軸体のすき間に、通して断熱材を取付けます。

※長い場合はカットし、短い場合は継ぎ足してください。

※縦通して取付けしてください。

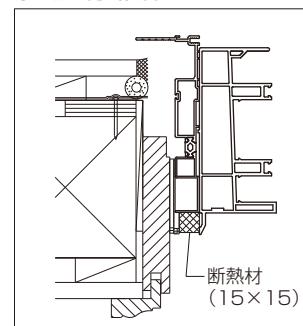
②上枠と軸体の間に断熱材を差し込みます。

※短い断熱材は端部に、長い断熱材はスペーサー間に取付けます。

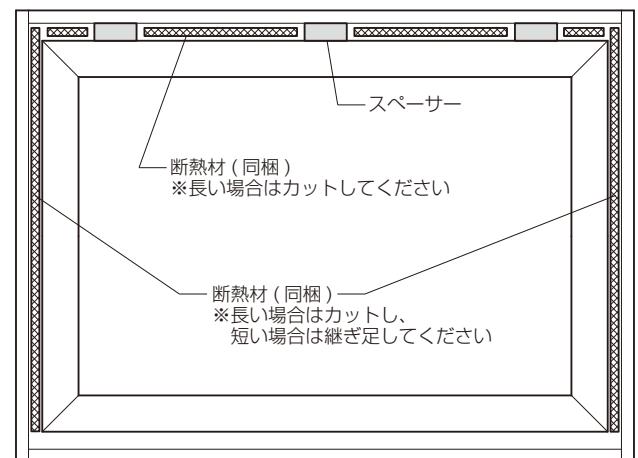
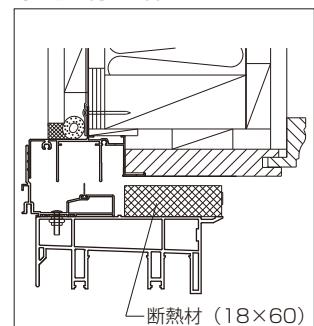
※スペーサー間に合わせて、断熱材の長さをカットしてください。

※断熱材は奥まで差し込んでください。上部にすき間が空きますが問題ありません。

①断熱材 縦枠



②断熱材 上枠



標準仕様の場合

四気密テープの張付け

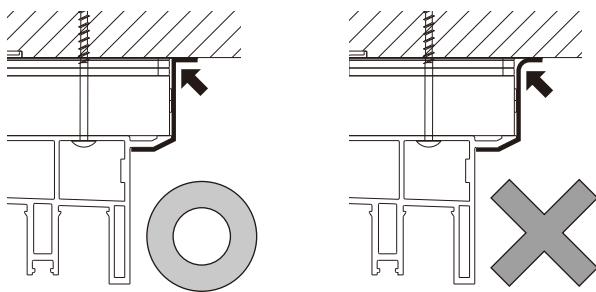
▲注 意



既設サッシ枠と新設サッシ枠の間を気密テープで浮き・すき間なくふさいでください。重ね合わせやつぎ足す場合は10mm以上重ねてください。漏水の原因になります。

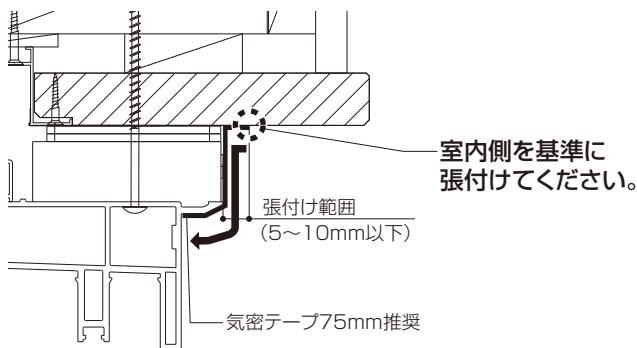
お願い

※軸体立上がりの入隅部は、角が出るように気密テープを張り付けてください。角が出ないと、室内樹脂カバーがおさまらなくなる場合があります。

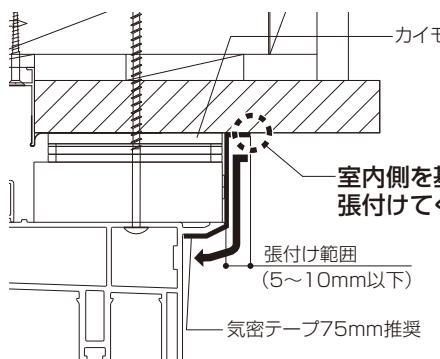


図を参考にローラー、ヘラなどを使用し、先に張付けた気密テープに気密テープを浮き・すき間なく張付けてください。コーナー部は重ね合わせて張付けてください。

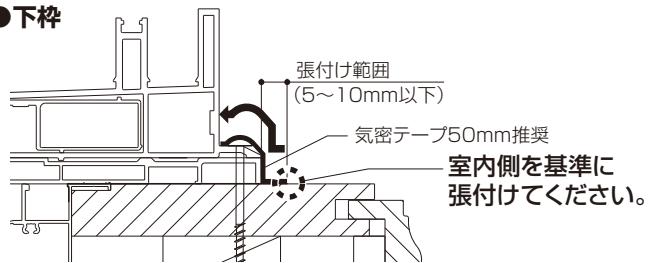
●上枠



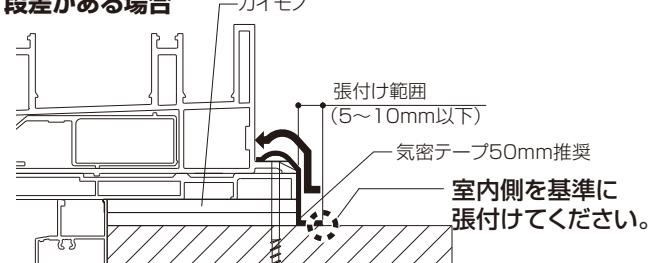
段差がある場合



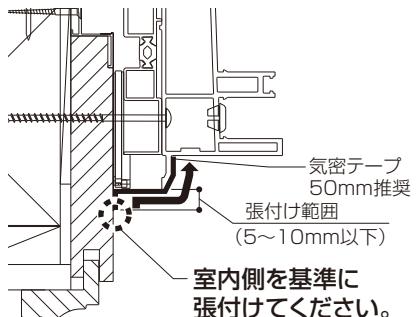
●下枠



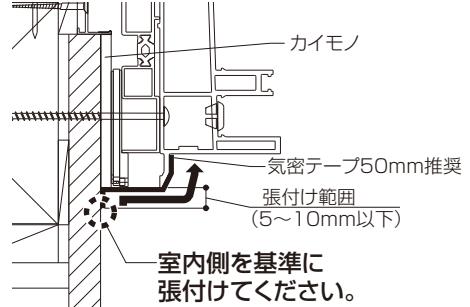
段差がある場合



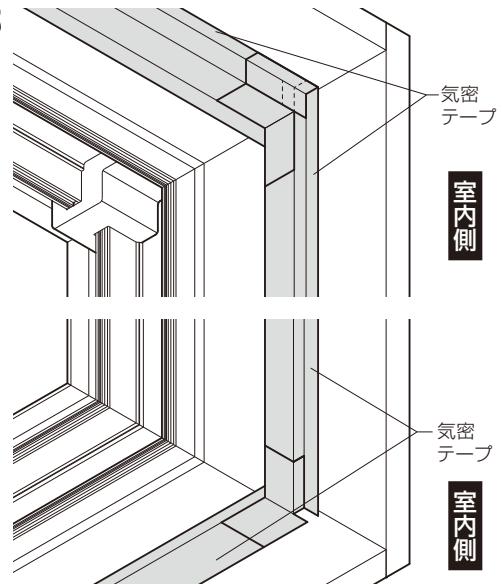
●縦枠



段差がある場合



●コーナー部

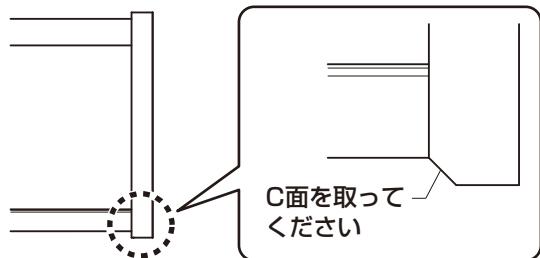


標準仕様の場合

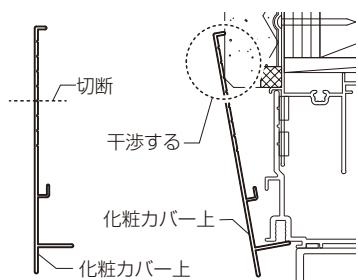
固定化粧カバーの取付け(サイド化粧カバーを使用する場合は、P.28へ進んでください)

お願い

※製品の出来寸法のバラツキにより、縦力バーの端部が上下力バーから飛び出してしまう場合があります。その場合は、安全上の観点より、やすりなどで下記の角部にC面を取ってください。



化粧カバーを当てがい外壁や既設枠に干渉しないか確認してください。干渉する場合は、当たらないように化粧カバーを切断してください。



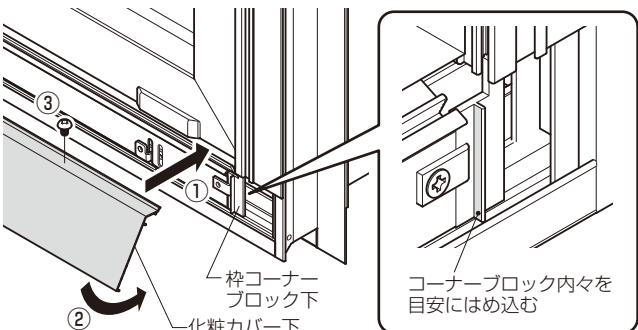
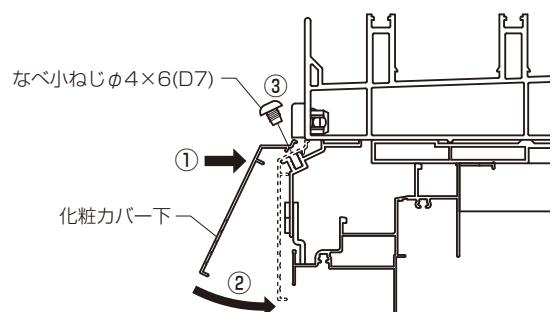
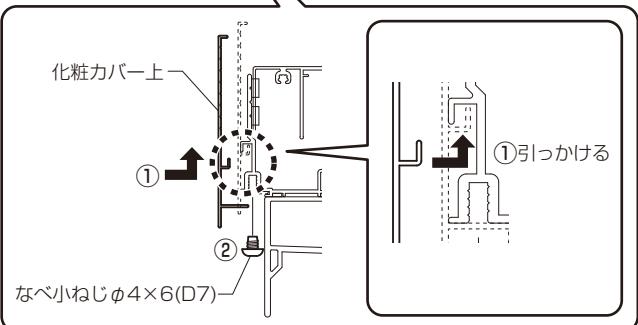
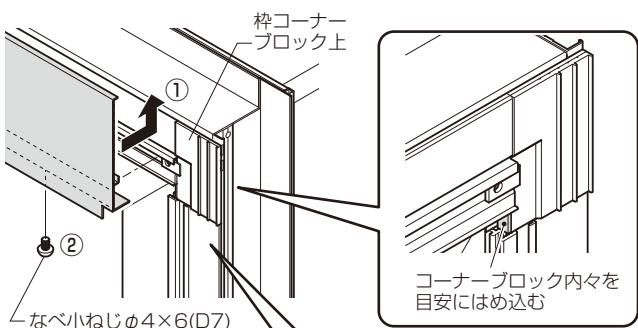
●化粧カバーは上・下⇒縦の順に取付けます。

化粧カバーは正面より、スライドさせてはめ込みねじで固定します。

※枠コーナーブロックの内々を目安にはめ込んでください。

※上・縦力バーのねじ固定の際には、100mm以上のドライバービットをご使用ください。枠に当たり、傷を付けてしまうおそれがあります。

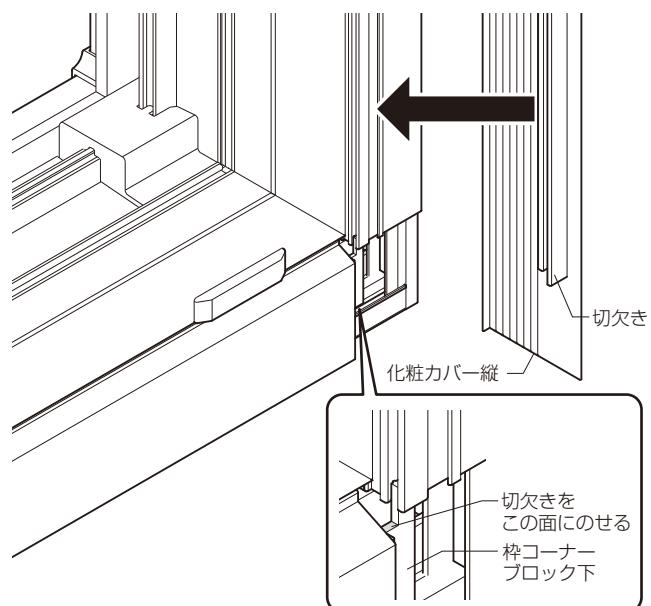
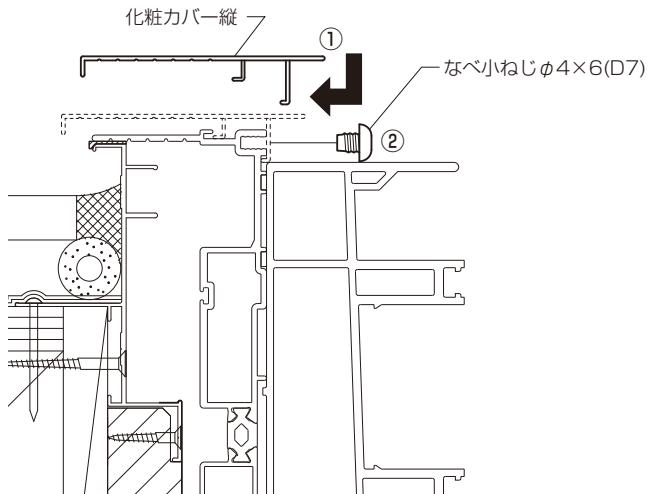
※上力バーの固定の際に、うまくカバーがはまらず、落下するおそれがあるため、カバーをテープなどで仮固定してください。



標準仕様の場合

固定化粧カバーの取付け(つづき)

- 化粧カバー縦を縦枠にはめ込み、ねじで固定してください。
※化粧カバー裏面下の切欠きを枠コーナーブロック下の上面にのせるようにはめ込んでください。

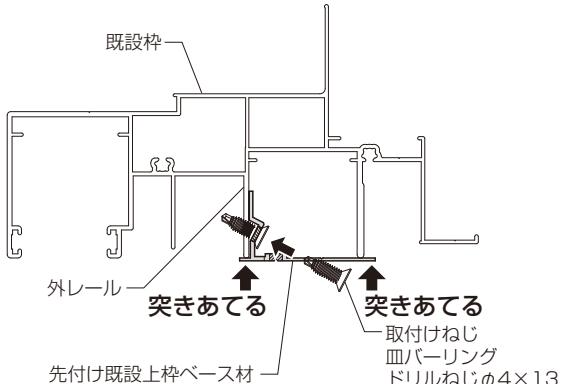


内嵌め仕様の場合

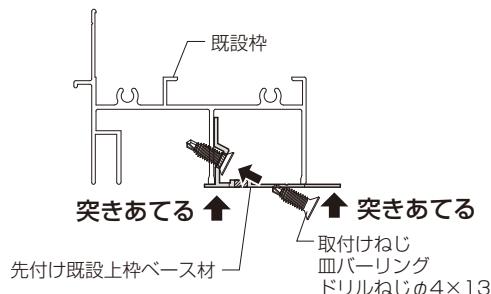
①既設上枠ベース材の取付け

●既設が引違い窓の場合

先付け既設上枠ベース材のリケイ紙をはがして、左右を均等に、既設枠の外レールに仮固定してください。
仮固定後、ねじ止めしてください。



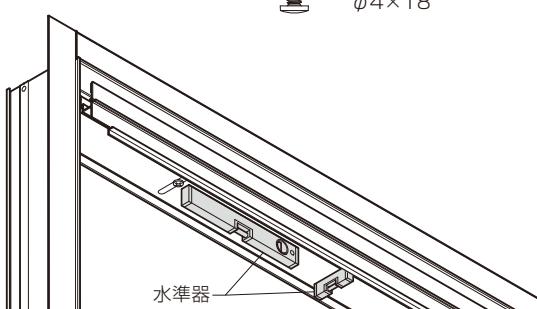
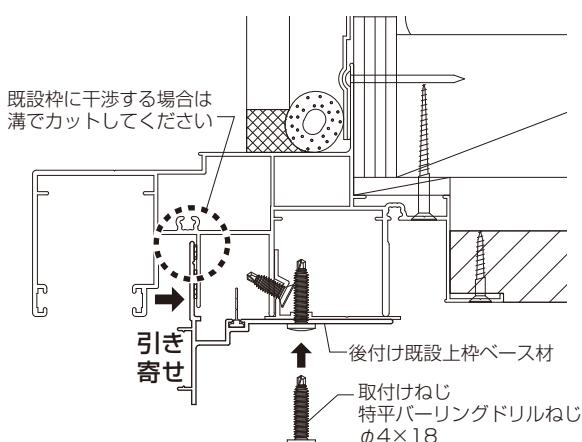
※既設枠ドブ溝の場合



※既設が内付・半外付枠の場合

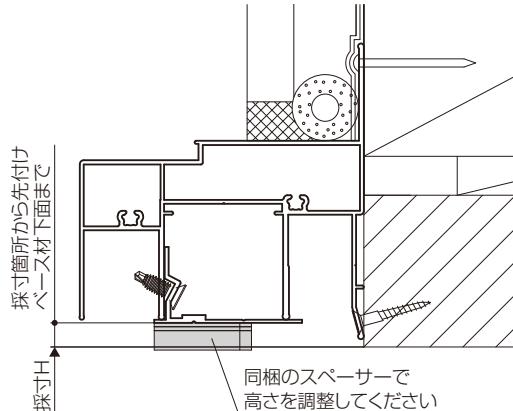
後付け既設上枠ベース材を先付けしたベース材の下穴に合せて、室内側に引き寄せ、水平、垂直を確認しながらねじ止めしてください。

水平が出ていない場合は、先付け既設上枠ベース材との間にスペーサーなど入れながらねじ止めしてください。

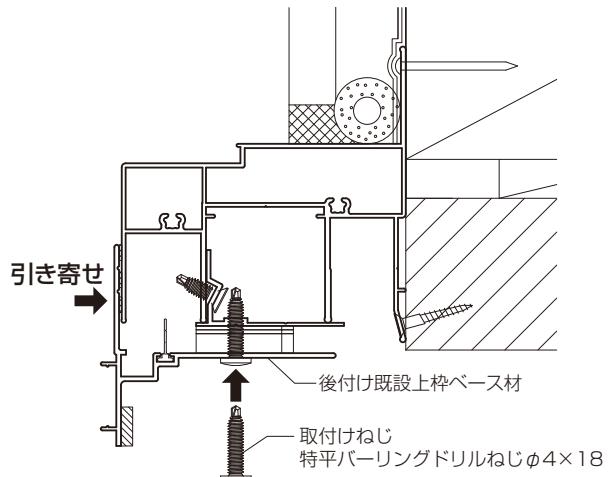


※既設が外付枠の場合

採寸箇所から先付け既設上枠ベース材下面までを測定し、その寸法以上になるようにスペーサーを取付け穴に合せて張付けてください。

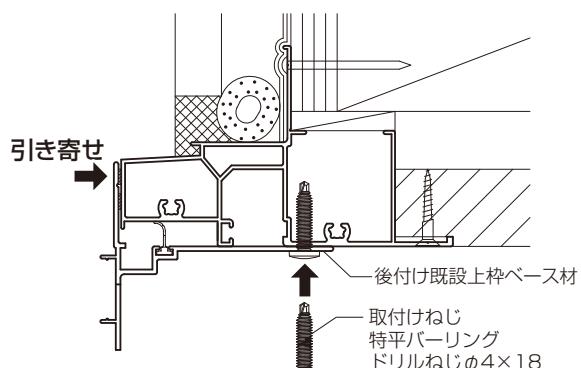


後付け既設上枠ベース材を先付けベース材の取付け穴に合せて、室内側に引き寄せ、水平・垂直を確認しながらねじ止めしてください。水平が出ていない場合は、スペーサーなど入れながらねじ止めしてください。



●既設が装飾窓の場合

後付け上枠ベース材を既設サッシ枠に当て、室内側に引き寄せ、水平、垂直を確認しながらねじ止めしてください。水平が出ていない場合は、スペーサーなど入れながらねじ止めしてください。

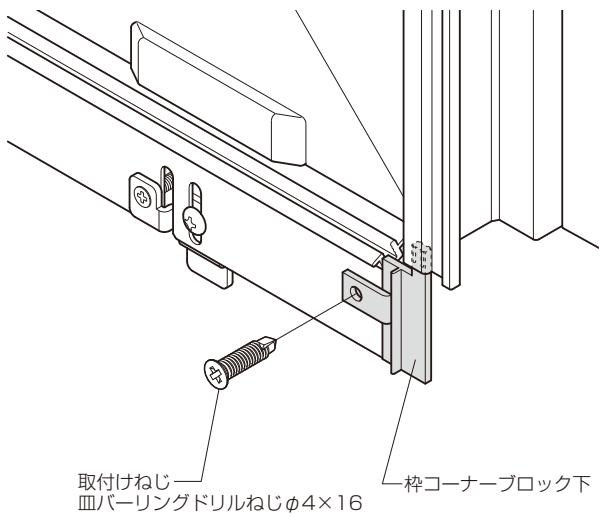


図は例として、FIX窓の場合を示します。

内嵌め仕様の場合

②枠コーナーブロック下の取付け

枠コーナーブロック下を下枠端部にねじ止めしてください。

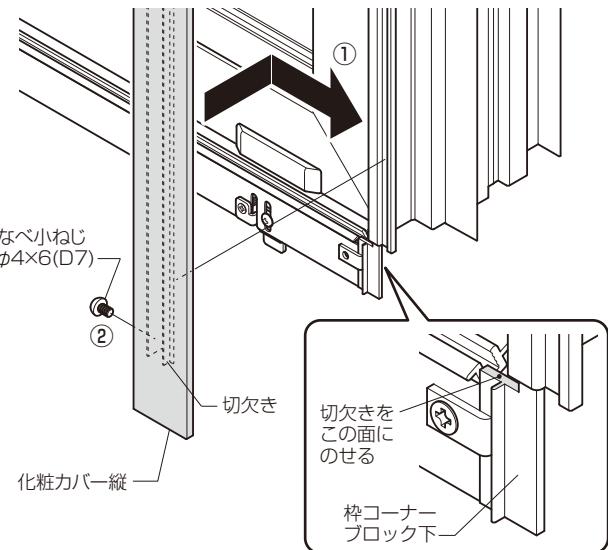
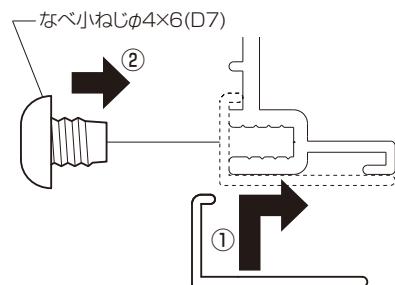


※枠コーナーブロック上の取付けはありません。

③化粧カバー縦の取付け(特小の場合)

●化粧カバー縦を縦枠にはめ込み、ねじで固定してください。
※化粧カバー縦を後からはめこめが出来ないため、新設サッシに先に縦枠にはめ込んでください。

※化粧カバー裏面下の切欠きを枠コーナーブロック下の上面にのせるようにはめ込んでください。

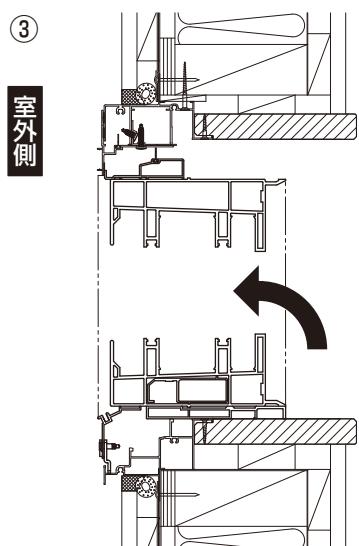
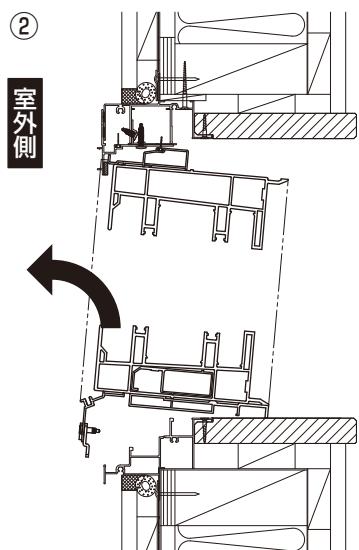
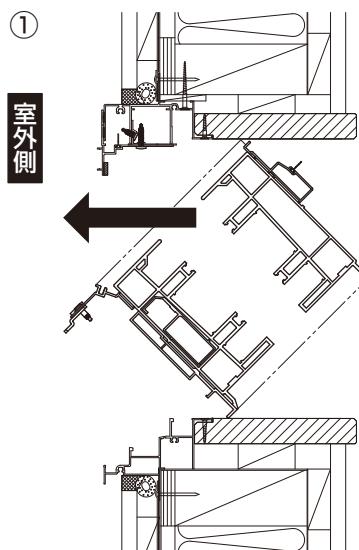


内嵌め仕様の場合

④新設サッシ枠の建込み

組立てした新設サッシ枠を室内側から回転させながら建込んでください。

枠コーナーブロックを破損させないように建込んでください。



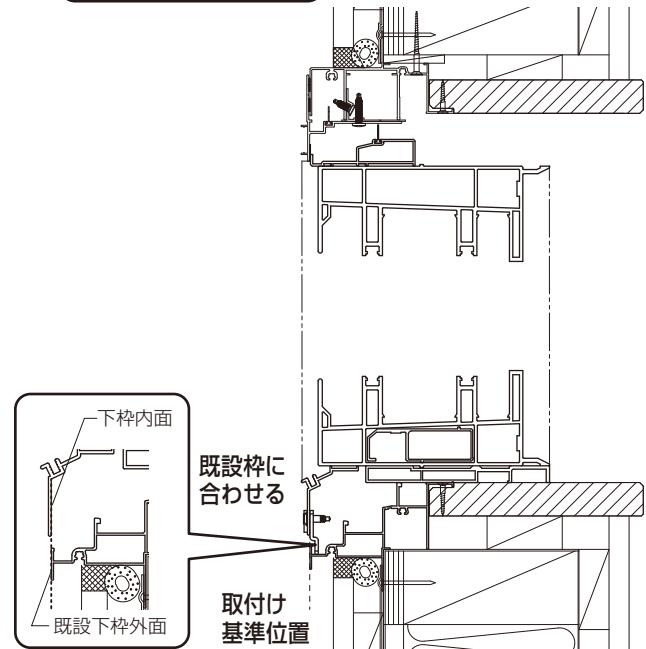
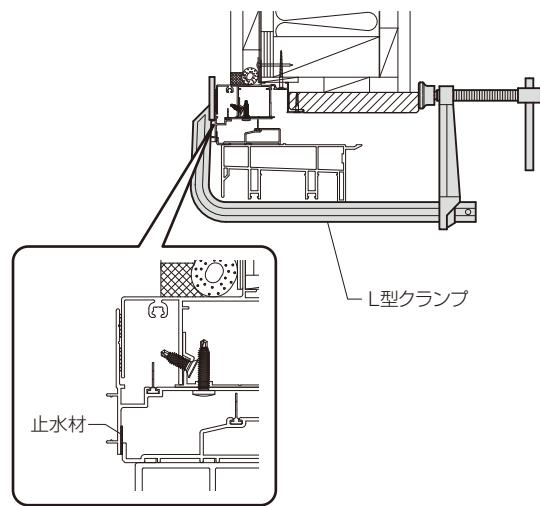
⑤新設サッシ枠の仮固定

△注意

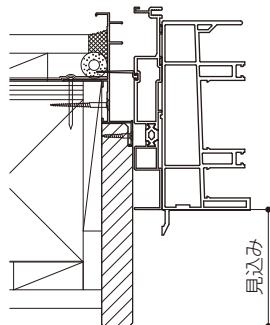


●L型クランプは水平に掛けて、後付け既設上枠ベース材の止水材がつぶれるまでクランプしてください。クランプがゆるいと漏水の原因になります。

既設サッシ枠に対し、左右のチリを確認し、後付け既設ベース材の止水材がつぶれるまでL型クランプで仮固定してください。



レーザー墨出器などで見込みを測定し、垂直調整してください。



内嵌め仕様の場合

⑥新設サッシ枠の取付け

お願い

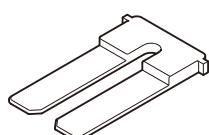
※枠の立上がりと近い場所にねじを固定するため、長いドライバービットを使い、枠を傷つけないようにしてください。
※縦枠、上枠のねじ固定部は目視できません。ねじが貫通しないようにご注意ください。(25mm程度ビットが入り込むとねじが固定されます。)

下枠の水平が出ているか確認し、水平が出ていない場合は、スペーサーなどで調整してください。
スプーンねじで縦枠を仮止め、垂直調整後、縦→下→上の順にねじ止めしてください。
※ねじ打ちで新設サッシ枠が外にズれないようにクランプを掛けて取付けしてください。
※ねじ打ちの際には水平・垂直を見ながら必要に応じてスペーサーを入れて取付けしてください。

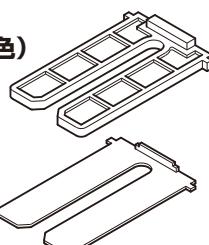
●縦枠部

【縦スペーサーの種類】

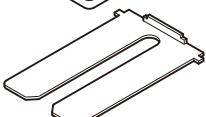
ベーススペーサー
(厚さ 1mm / グレー色)



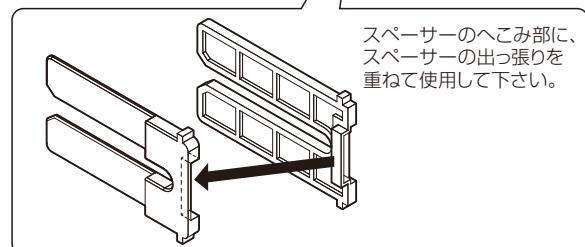
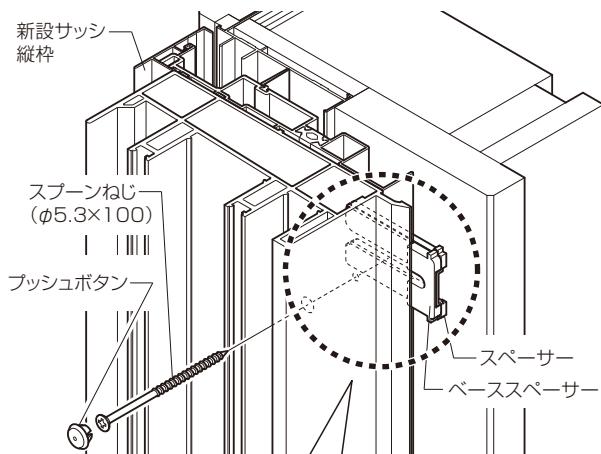
スペーサー
(厚さ 3、5mm / ブラック色)



スペーサー
(厚さ 1mm / グレー色)

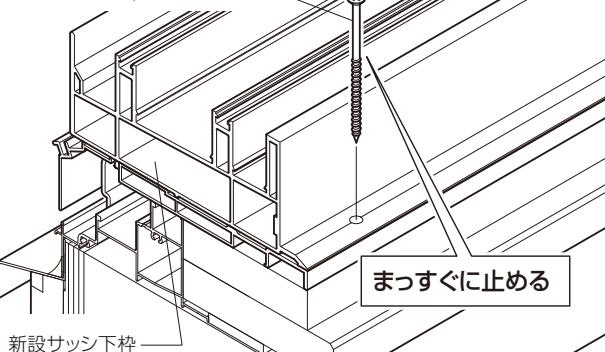


- ①軸体ねじを差し込みます。
- ②新設枠と軸体の間にベーススペーサーを入れます。
- ③ベーススペーサーと軸体の間にすき間が無くなるように1、3、5mmのスペーサーをベーススペーサーに重ねて調整しながら取付けます。
- ④軸体ねじを本固定します。
- ⑤ねじ固定後、プッシュボタンを取付けます。



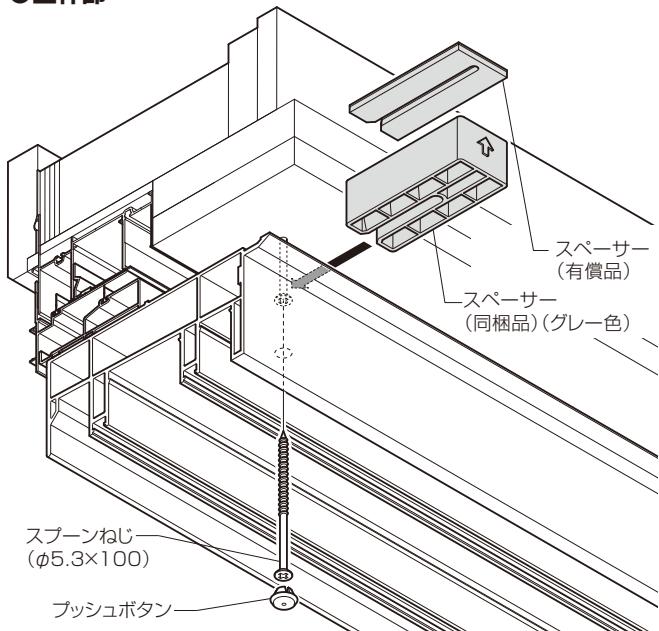
●下枠部

スプーンねじ(Φ5.3×100)



- ①枠の穴加工に合わせて、軸体に対しまっすぐにねじを止めます。

●上枠部



- ①軸体ねじを仮止めします。
- ②上用スペーサーを矢印の向きが上になるように差し込んでください。
- ③すき間が空いている場合には、スペーサー(有償品)を追加してください。
- ④軸体ねじを本固定します。

内嵌め仕様の場合

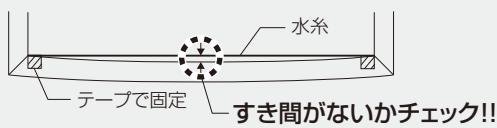
7 下枠補強金具の調整と固定

▲ 注意



●下枠に下がりがないように取付けてください。障子が落下するおそれがあります。

ポイント 網戸レールに水糸を張ると水平が出しやすくなります。

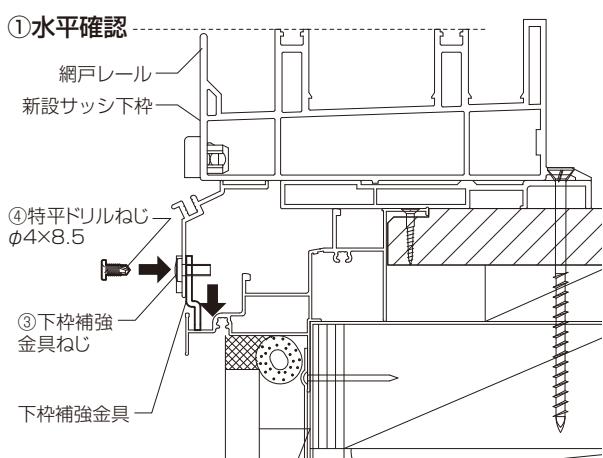


①新設サッシの見込み面が水平になること、②下枠の長手方向に下がりが無いことを確認しながら、③下枠補強金具のねじを緩め高さ調整してください。

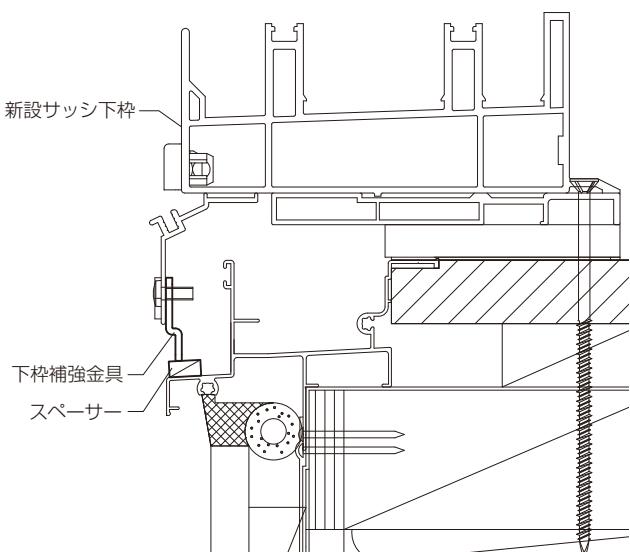
水平方向(①)については水準器で確認し、長手方向(②)の水平については、網戸レールに水糸を張って確認をするかレーザー墨出し器で確認を行ってください。

位置が決まったら、④特平ドリルねじで本固定します。

①水平確認



※下枠補強金具の調整範囲を超える場合は、スペーサーなどで補強金具を受けるようにしてください。



8 枠断熱材の取付け

上枠、縦枠のサッシと軸体の間に断熱性を高めるための断熱材を差し込みます。

①縦枠と軸体のすき間に、通して断熱材を取付けます。

※長い場合はカットし、短い場合は継ぎ足してください。

※縦通して取付けしてください。

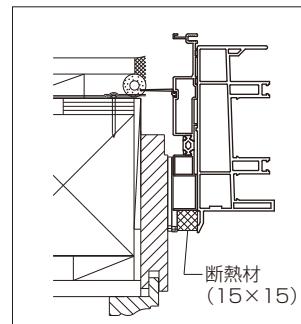
②上枠と軸体の間に断熱材を差し込みます。

※短い断熱材は端部に、長い断熱材はスペーサー間に取付けます。

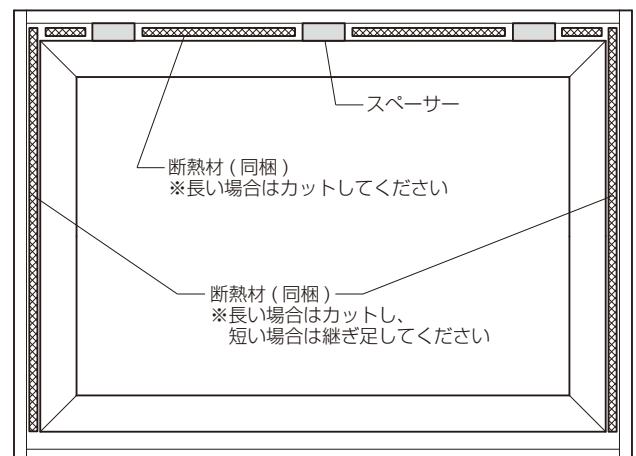
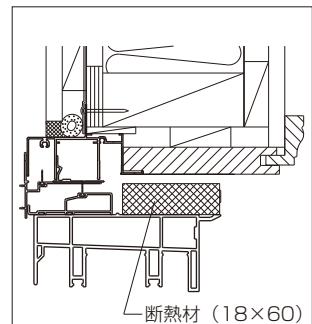
※スペーサー間に合わせて、断熱材の長さをカットしてください。

※断熱材は奥まで差し込んでください。上部にすき間が空きますが問題ありません。

①断熱材 縦枠



②断熱材 上枠



内嵌め仕様の場合

⑨ 気密テープの張付け

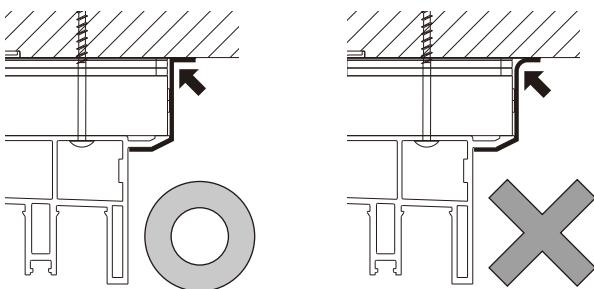
▲ 注意



既設サッシ枠と新設サッシ枠の間を気密テープで浮き・すき間なくふさいでください。重ね合わせやつぎ足す場合は10mm以上重ねてください。漏水の原因になります。

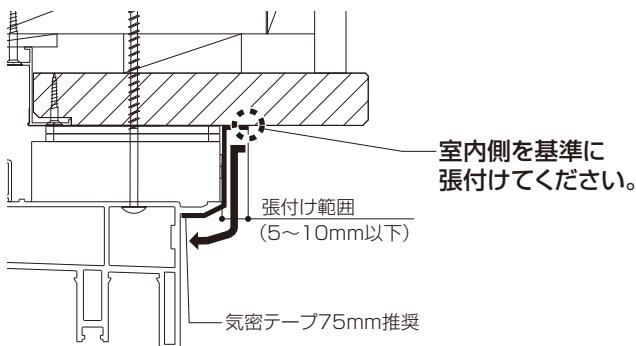
お願い

※軸体立上がりの入隅部は、角が出るように気密テープを張付けてください。角が出ていないと、室内樹脂カバーがおさまらなくなる場合があります。

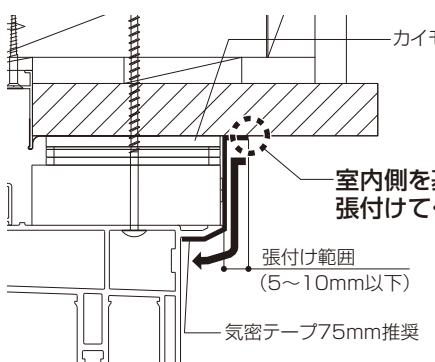


図を参考にローラー、ヘラなどを使用し、先に張付けた気密テープに気密テープを浮き・すき間なく張付けてください。コーナー部は重ね合わせて張付けてください。

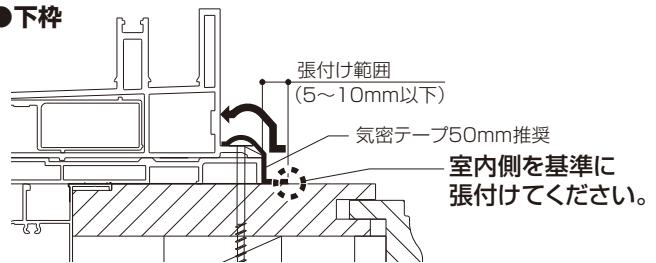
●上枠



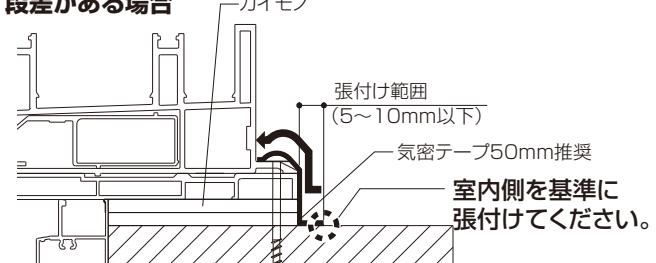
段差がある場合



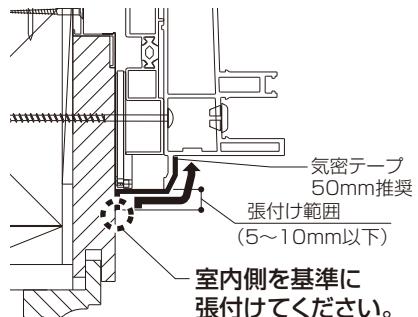
●下枠



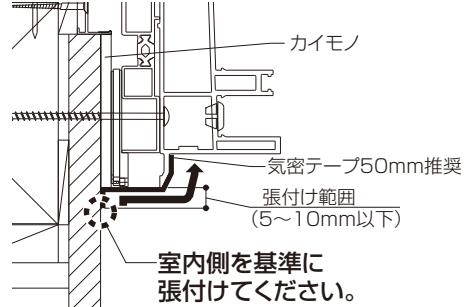
段差がある場合



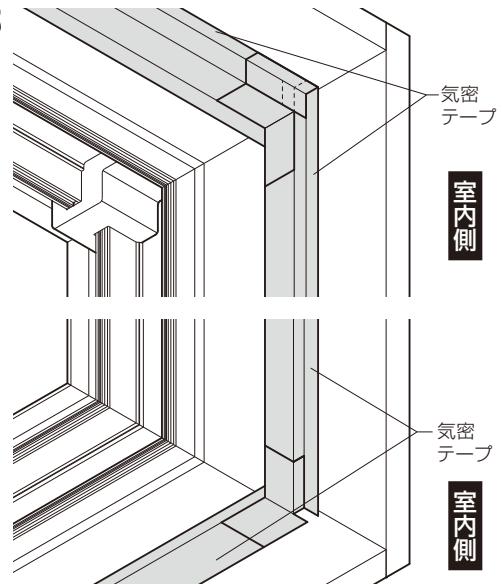
●縦枠



段差がある場合



●コーナー部

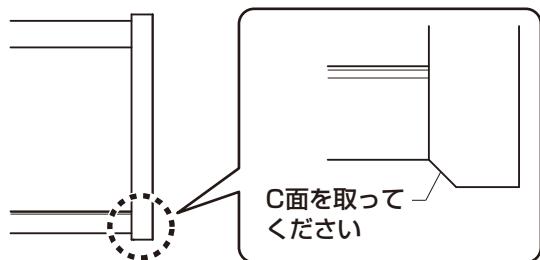


内嵌め仕様の場合

四化粧カバーの取付け(大・中・小の場合)(サイド化粧カバーを使用する場合は、P.28へ進んでください)

お願い

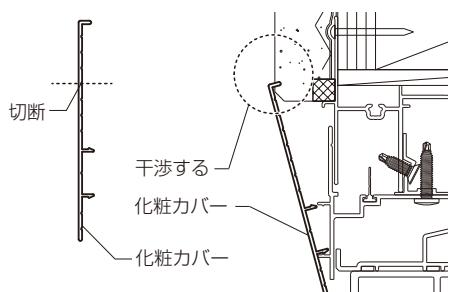
※製品の出来寸法のバラツキにより、縦カバーの端部が上下カバーから飛び出してしまう場合があります。その場合は、安全上の観点より、やすりなどで下記の角部にC面を取ってください。



化粧カバーを当てがい外壁や既設枠に干渉しないか確認してください。

干渉する場合は、当たらないように化粧カバーを切断してください。

※切断は、P.11の●切断手順を参照してください。



●化粧カバーは上・下⇒縦の順に取付けます。

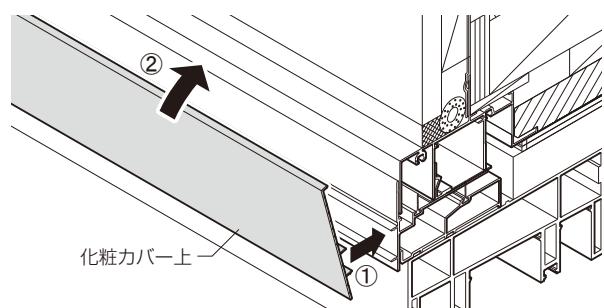
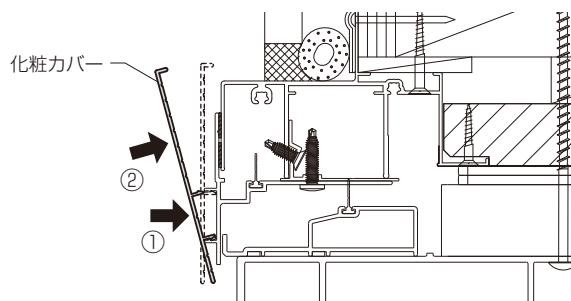
縦・下の化粧カバーは正面より、スライドさせてはめ込みねじで固定します。

※枠コーナーブロックの内々を目安にはめ込んでください。

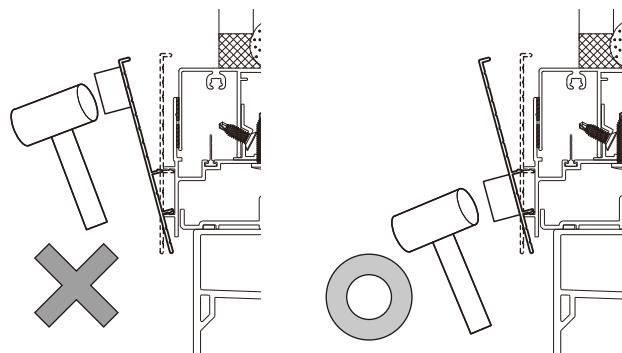
※上・縦カバーのねじ固定の際には、100mm以上のドライバービットをご使用ください。枠に当たり、傷を付けてしまうおそれがあります。

※上カバーの固定の際に、うまくカバーがはまらず、落下するおそれがあるため、カバーをテープなどで仮固定してください。

化粧カバー上を左右を均等にし、後付け既設上枠ベース材にはめ込んでください。

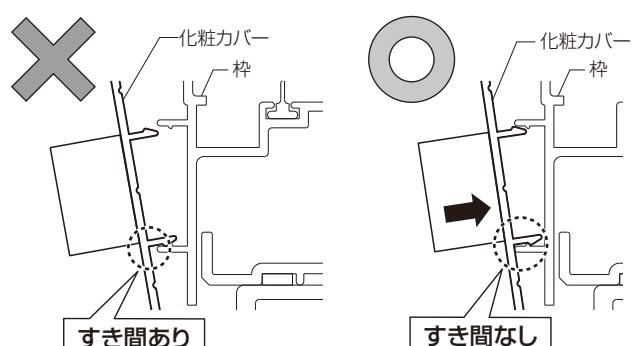


※はめ込みは当て木などを入れて、化粧カバー締合部の表面をたたいてください。化粧カバーの端部をたたくと変形のおそれがあります。



※化粧カバー上をたたき込む際、化粧カバーと枠の間にすき間がないようにたたいてください。

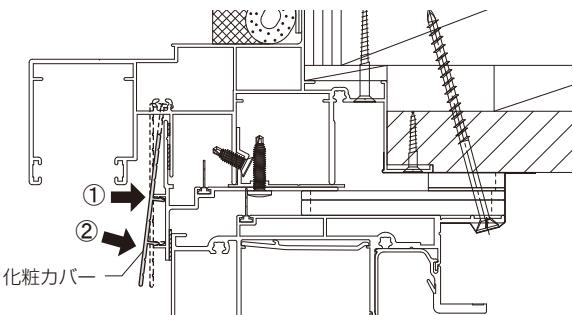
特に部材が長尺の場合、すき間が出ないように、当て木を持つ手で化粧カバーを枠に押し付けながらたたき込んでください。すき間があると化粧カバーが入らなかったり、変形するおそれがあります。



内嵌め仕様の場合

④化粧カバーの取付け(つづき)

●既設サッシ枠が雨戸付や面格子付などの場合

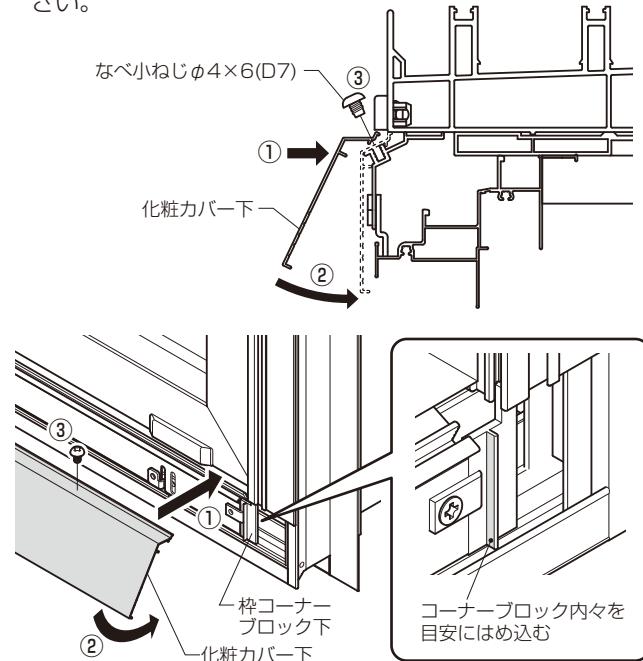


化粧カバーを当てがい外壁や既設枠に干渉しないか確認してください。

干渉する場合は、当たらないように化粧カバーを切断してください。

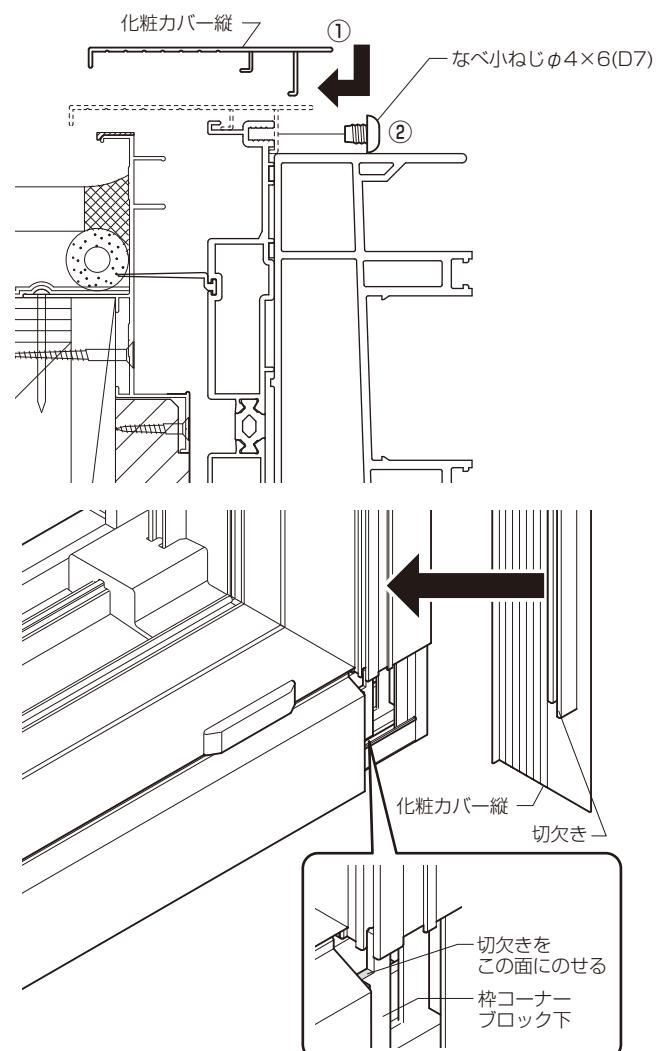
※切断は、P.11の●切断手順を参照してください。

●化粧カバー下を①下枠にはめ込み、②ねじで固定してください。



●化粧カバー縦を縦枠にはめ込み、ねじで固定してください。

※化粧カバー裏面下の切欠きを枠コーナーブロック下の上面にのせるようにはめ込んでください。



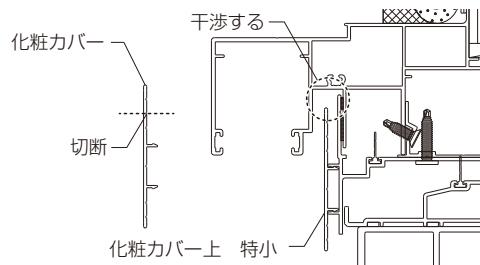
内嵌め仕様の場合

④化粧カバーの取付け(特小の場合)

化粧カバーを当てがい外壁や既設枠に干渉しないか確認してください。

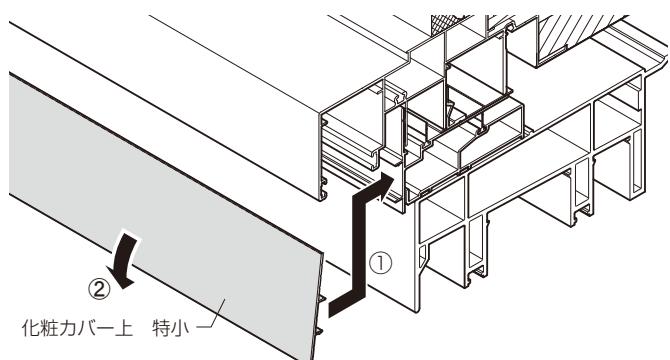
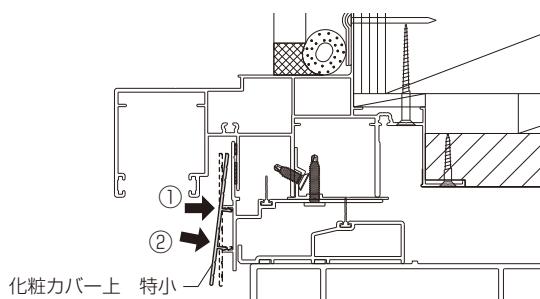
干渉する場合は、当たらないように化粧カバーを切断してください。

※切断はP11の●切断手順を参照してください。



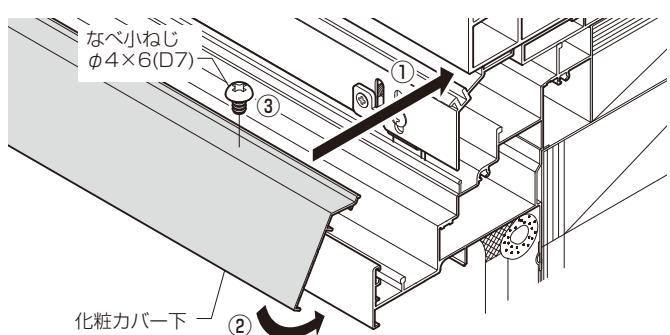
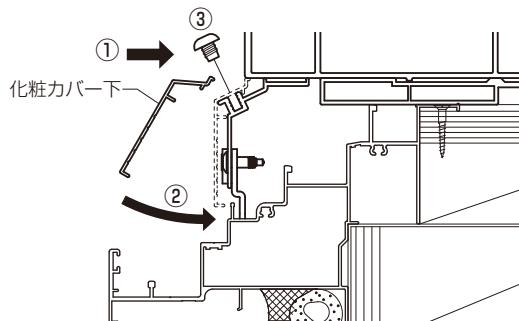
●化粧カバー上を後付け既設上枠ベース材にはめ込んでください。

※左右がおおよそ均等になるようにはめ込んでください。



●化粧カバー下を①下枠にはめ込み、②ねじで固定してください。

※左右のチリがおおよそ均等になるようにはめ込んでください。

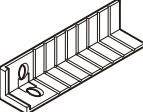


有償品の取付け

①サイド化粧カバーの取付け

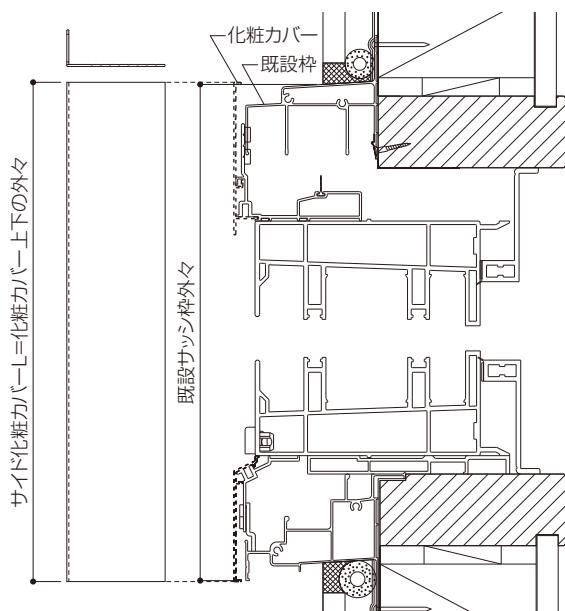
※サイド化粧カバーの取付けは、新設サッシ枠取付け後、室外側正面の化粧カバー取付け前に行います。

■部品・ねじ一覧

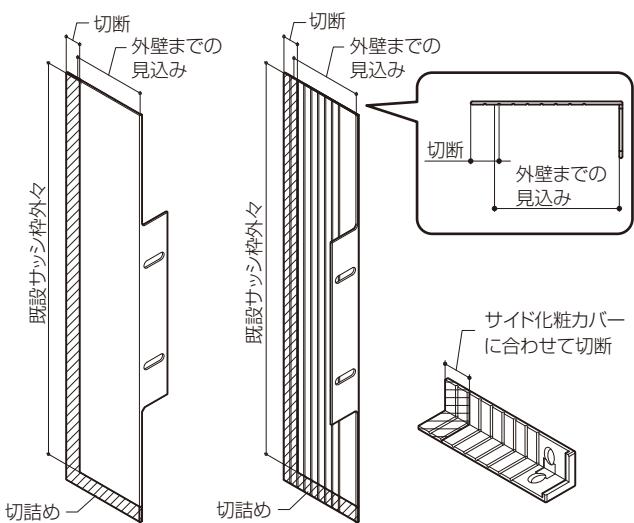
サイド化粧カバー取付けねじセット	サイド化粧カバー部品セット	ねじ先カバーセット（横部材の場合）
 取付けねじ 特平バーリングドリルねじ M4×10	 端部キャップ	 ねじ先カバー

■縦のみ取付ける場合（3・4方取付け、横のみ取付けの場合はP.30へ進んでください）

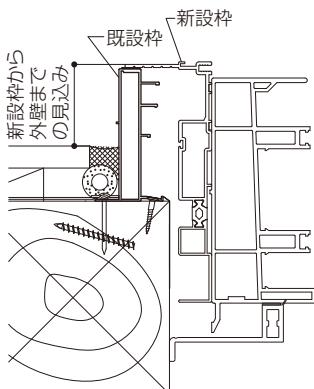
- ①既設サッシ枠の外々、既設サッシ枠または新設サッシ枠の外側から外壁までの見込みを測定してください。
※サイド化粧カバー長さは室外側の化粧カバー外々に設定してあります。



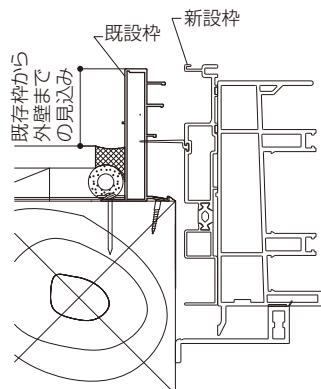
- ②サイド化粧カバーを測定した長さで切断してください。
※上下に新設サッシ枠のコーナー部品を避ける切欠きがあります。下になる方を切詰めしてください。
③サイド化粧カバーを測定した見込みより小さくなるように切断してください。
④端部キャップをサイド化粧カバーに合せて切断してください。



※標準仕様の場合

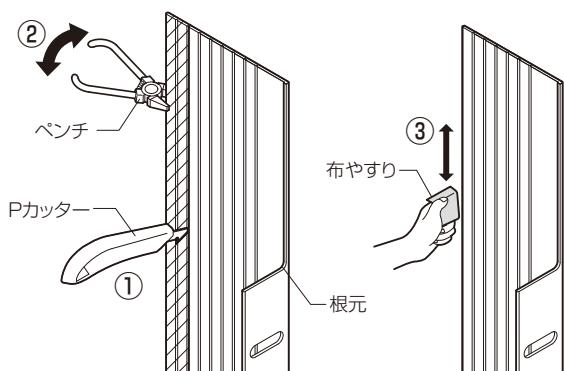


※内嵌め仕様の場合



●形材の見込み切断手順

- ①裏面にある溝に合わせてPカッターで部材全長に数回切込みを入れます。
※アルミ形材の厚みの6割以上切込んでください。
②ペンチなどで端部から折り曲げをくり返して折り取ってください。
③切断した面を、布やすり（推奨粒度400以上）で研磨し、バリ取りを行ってください。

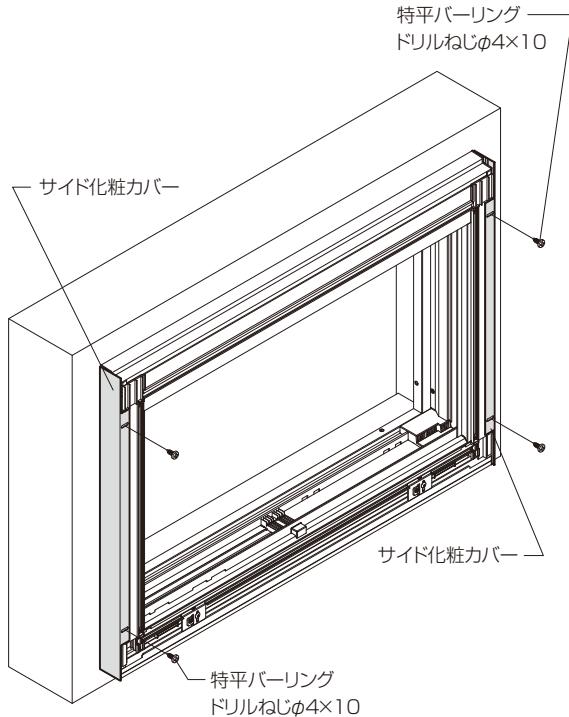


※切断が根元に近い場合、端部が変形しないように丁寧に折り取ってください。

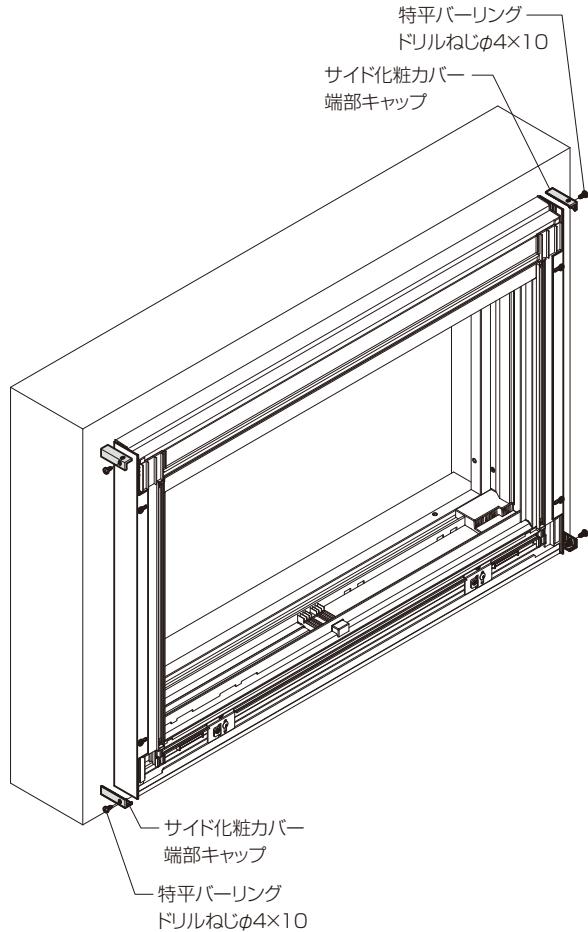
有償品の取付け

①サイド化粧カバーの取付け(つづき)

- ④サイド化粧カバーをねじ止めしてください。
※ねじが入りにくい場合は、 $\phi 3.4$ ドリルで下穴をあけてください。

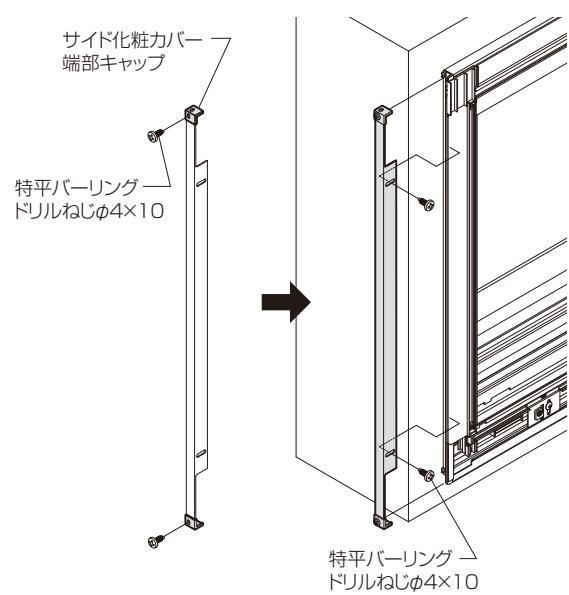


- ⑤サイド化粧カバー端部キャップをねじ止めしてください。
※ねじが入りにくい場合は、 $\phi 3.4$ ドリルで下穴をあけてください。



●既設サッシ枠が半外付の場合

- ※後からねじ止めしにくいため、端部キャップを先に取付けて、サイド化粧カバーをねじ止めしてください。



標準仕様の場合は、P.17の④化粧カバーの取付けへ進んでください。

内嵌め仕様の場合は、P.25の⑩化粧カバーの取付けへ進んでください。

有償品の取付け

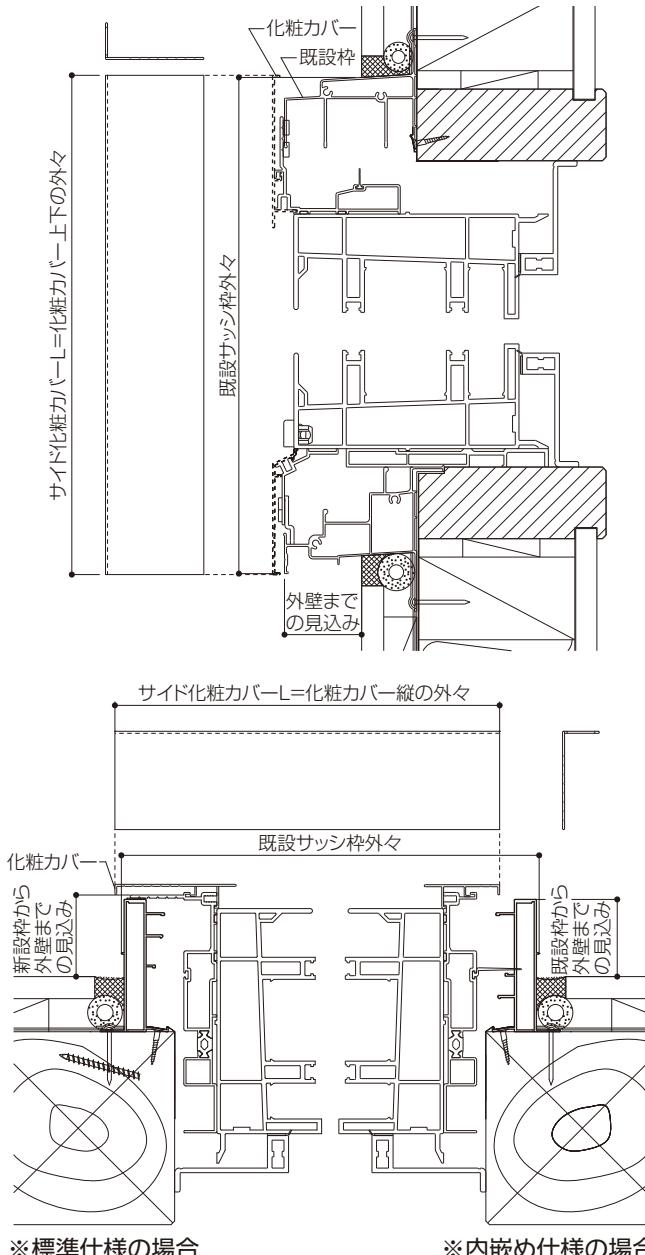
①サイド化粧カバーの取付け(つづき)

■図は代表として4方取付けの場合です。3方取付け、横のみ取付けも本図を参照してください。

①既設サッシ枠の外々、既設サッシ枠または新設サッシ枠の外側から外壁までの見込みを測定してください。

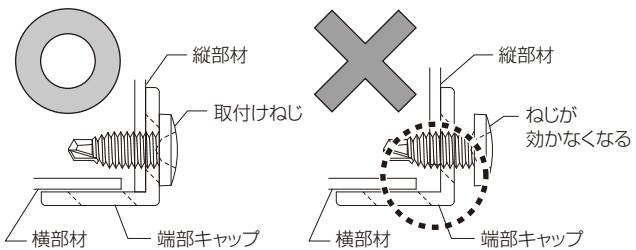
※新設サッシ枠の方が大きい場合は、新設サッシの外々を測定してください。

※サイド化粧カバー長さは室外側の化粧カバー外々に設定してあります。



②サイド化粧カバー縦部材をコーナー部を縦通しにするため、測定した長さ+3mmで切断してください。

※縦部材が短いと端部キャップのねじ止めができなくなります。

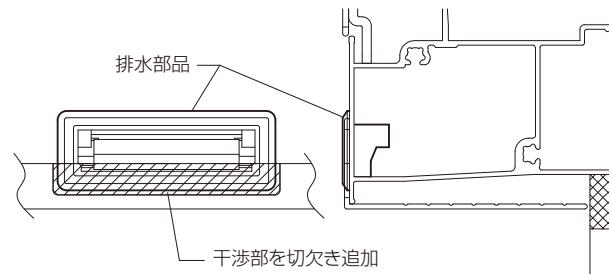


※縦部材は上下に新設サッシ枠のコーナー部品を避ける切れきがあります。下になる方を切詰めしてください。

③サイド化粧カバー横部材を測定した長さで切断してください。

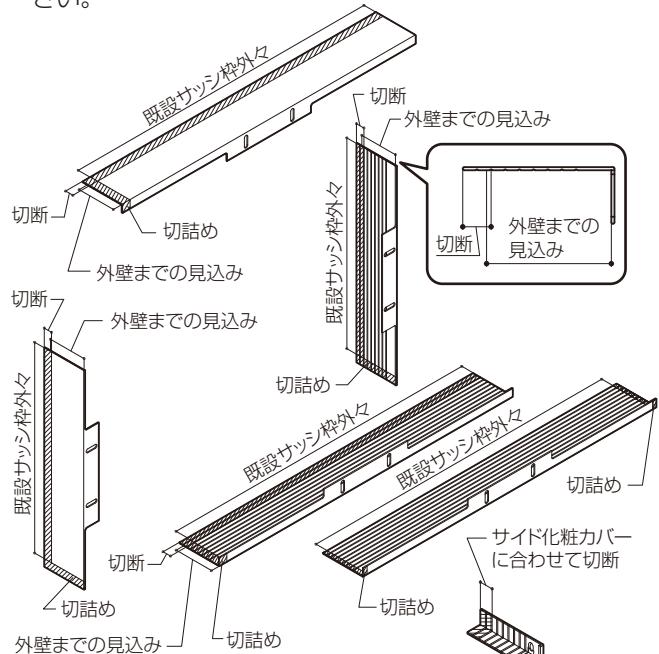
※横部材は左右に既設サッシ下枠の排水が出来るように切れきがあります。既設サッシ下枠に当てがい、排水経路に支障が無ければ、片側から切詰めしてください。支障が有る場合は、左右を切詰めしてください。

※切れきが既設サッシ下枠の排水部品に干渉する場合は、切れきを追加してください。



④サイド化粧カバーを測定した見込みより小さくなるように切断してください。

⑤端部キャップをサイド化粧カバーに合せて切断してください。

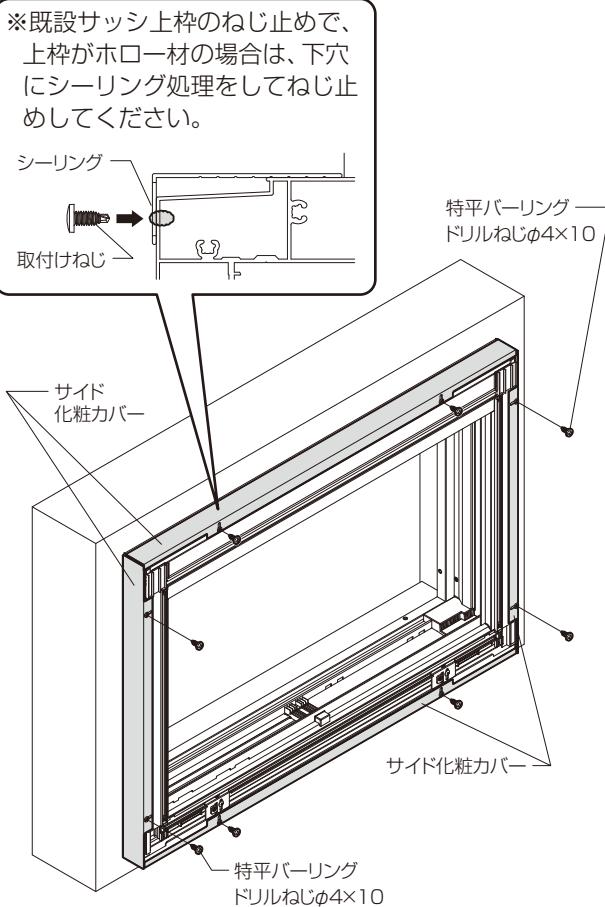


●形材の見込み切断手順はP.28を参照してください。

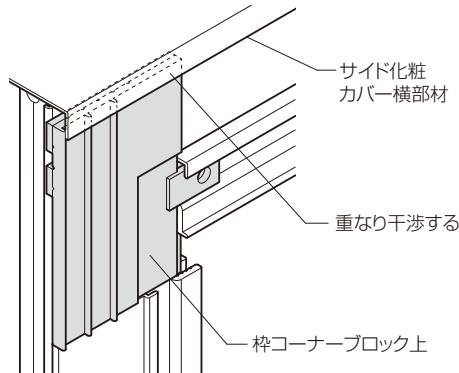
有償品の取付け

①サイド化粧カバーの取付け(つづき)

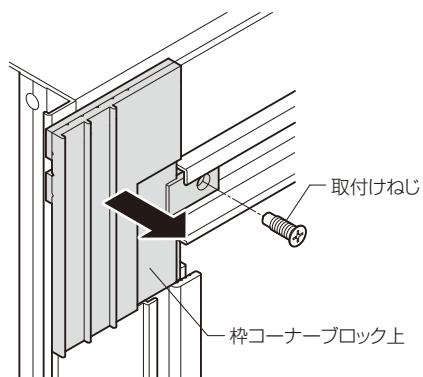
- ⑥サイド化粧カバーをねじ止めしてください。
※ねじが入りにくい場合は、 $\phi 3.4$ ドリルで下穴をあけてください。



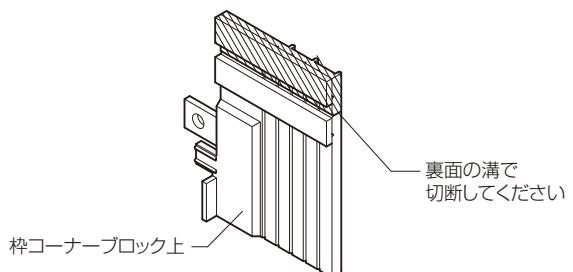
●枠コーナーブロック上にサイド化粧カバー横部材が干渉する場合



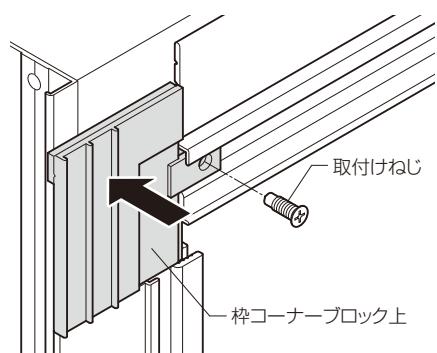
1. 枠コーナーブロック上を取外してください。



2. 枠コーナーブロック上を溝で切断してください。

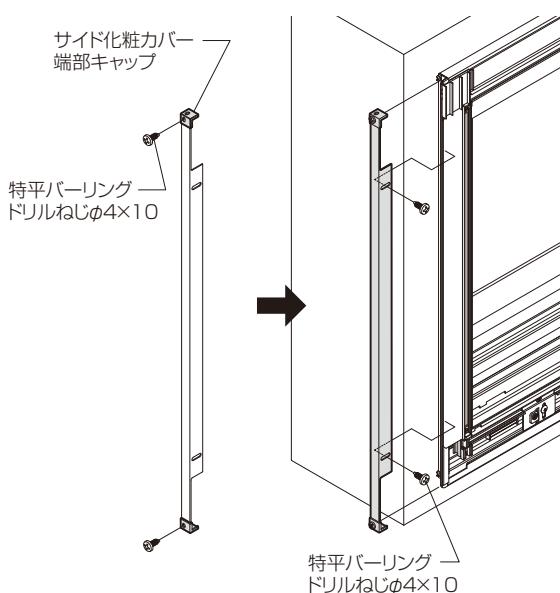


3. 切断した枠コーナーブロック上を取付けてください。



●既設サッシ枠が半外付の場合

- ※後からねじ止めしにくいため、端部キャップを先に取付けて、サイド化粧カバーをねじ止めしてください。



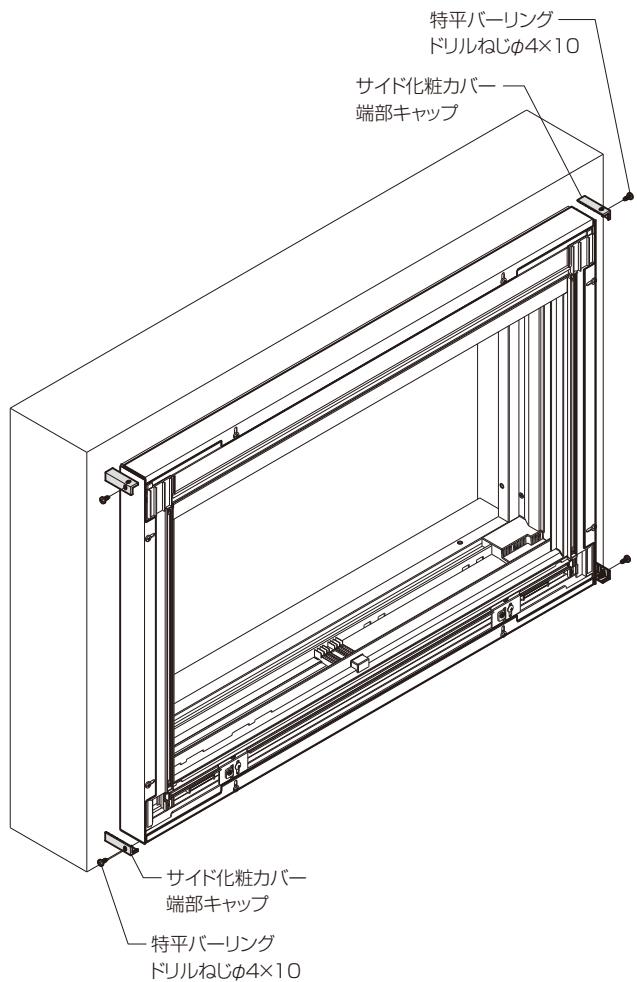
有償品の取付け

①サイド化粧カバーの取付け(つづき)

⑦サイド化粧カバー端部キャップを縦部材にねじ止めしてください。

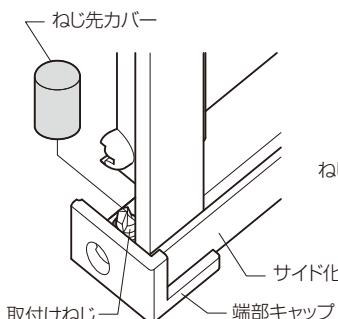
※横部材のみ取付けの場合は、横部材にねじ止めしてください。

※ねじが入りにくい場合は、 $\phi 3.4$ ドリルで下穴をあけてください。

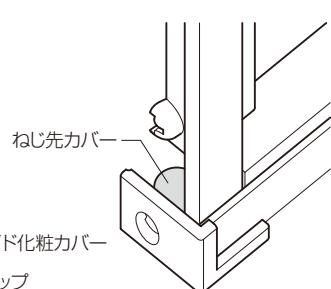


⑧横部材のみの取付けの場合で、端部キャップ取付けねじが露出している場合は、ねじ先カバーをねじに差し込んでください。

●取付け前



●取付け後



標準仕様の場合は、P.17の**正面化粧カバー**の取付けへ進んでください。

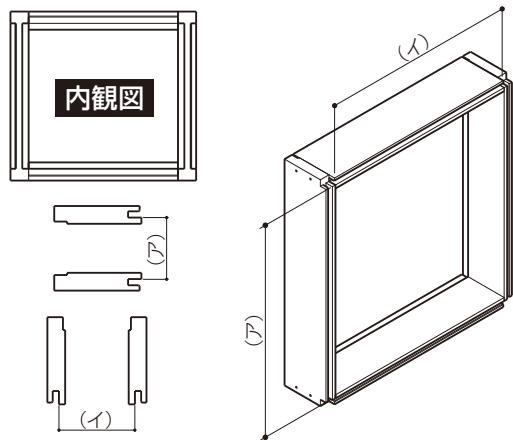
内嵌め仕様の場合は、P.25の**正面化粧カバー**の取付けへ進んでください。

有償品の取付け

②室内仕上げ材の取付け(カバー用ケーシング納まりの場合)

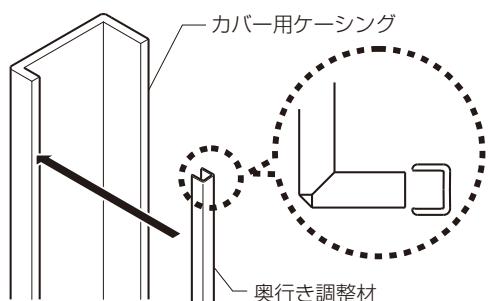
■DS窓枠の採寸

DS窓枠の溝間の寸法(ア)、(イ)(下図参照)を採寸してください。

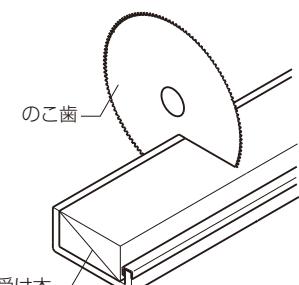


■ケーシングの切断

①奥行き調整材をカバー用ケーシングに取付けます。
※足の短い方に奥行き調整材を取付けてください。



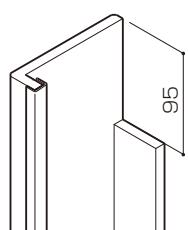
②切断します。
※切断する際は、受け木を入れてから切断してください。



〈縦枠・横枠切断寸法算出方法〉

	四方枠
縦枠切断寸法	(ア)+210
横枠切断寸法	(イ)

③縦枠の足の部分に下図の寸法にて切欠きをしてください。
※四方枠の場合は上下に下図の切欠きを行ってください。

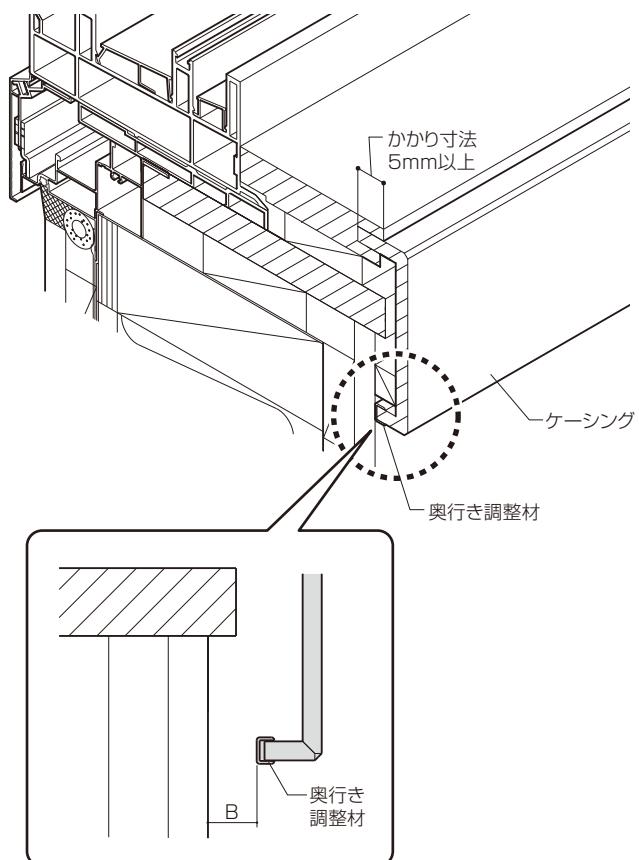
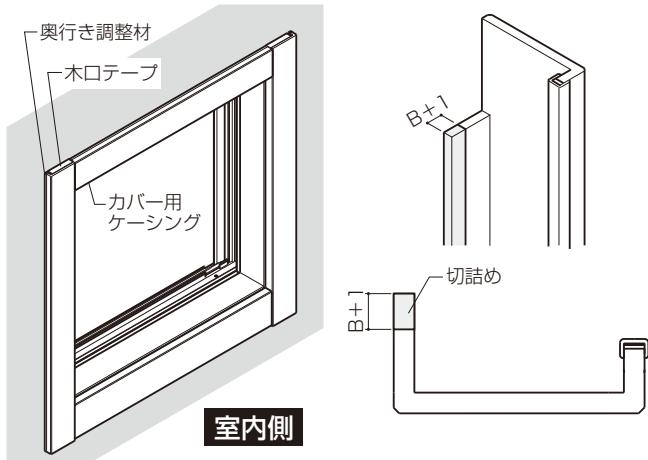


■ケーシングの取付け

①枠のケーシング溝へケーシングを差し込みます。

※壁面とすき間が生じる場合は、すき間の寸法分足を切詰めます。

※縦・横ケーシングの足が一律にケーシングの溝に5mm以上かかるようにしてください。



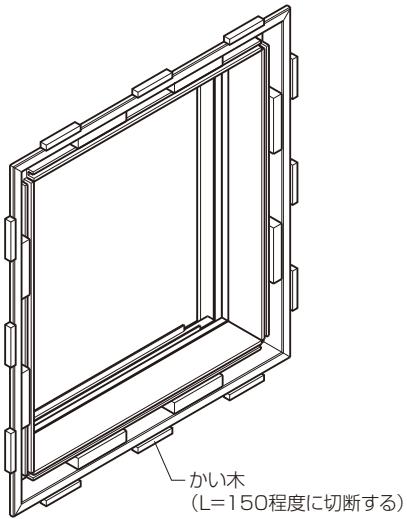
有償品の取付け

②室内仕上げ材の取付け(カバー用ケーシング納まりの場合)(つづき)

■ケーシングの取付け(つづき)

②ケーシングの取付け後のガタツキをなくすため、旧窓枠の室内側の四周外側に、同梱されているかい木を下図の要領にしたがってカクシ釘にて壁に固定してください。

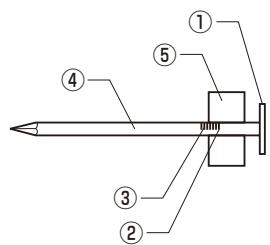
※かい木を取付ける際、ケーシングが取付けられるかをあらかじめ確認してください。ケーシングが取付けられなくなる場合は、かい木を薄く切断して取付けてください。



専用カクシ釘の使用方法

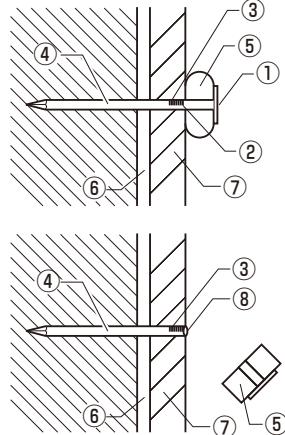
●各部名称

- ①釘頭
- ②切断筋
- ③抜止め筋
- ④残留釘
- ⑤弾力材
- ⑥接着材
- ⑦部材
- ⑧パッチャルペンシル材



●仮止めする場合

釘頭①を打込むと切断筋②は部材⑦に入り込みこれで仮止め完了です。

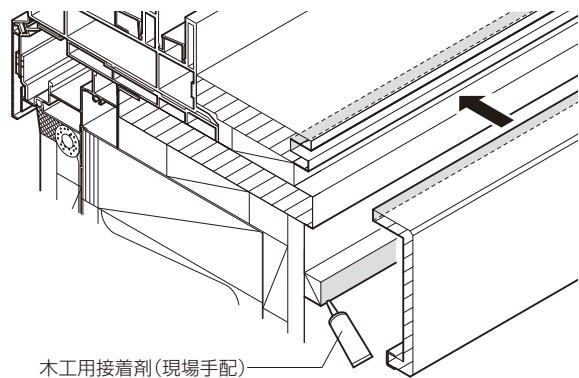


●仮止めする場合

接着完了後、弾力材⑤を横からたたいて折付けます。
抜止め筋③が働き「本止め」となります。

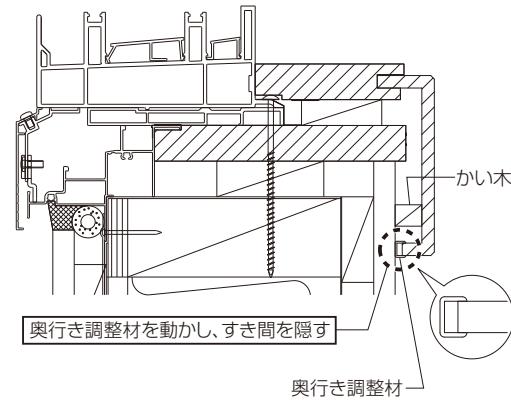
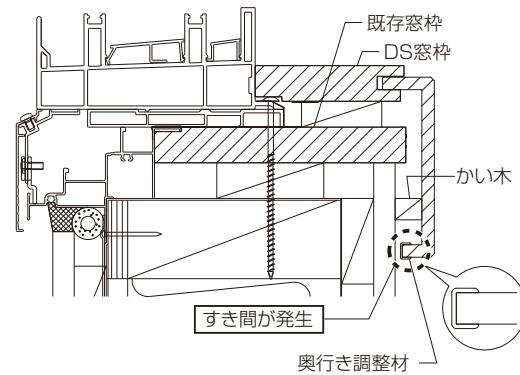
③下図のアミ掛け、ケーシングの足部にまんべんなく木工用接着剤(現場手配)を塗布した後、すき間、ズレの調整を行い、ケーシングを固定してください。

※仮止めをする場合は、専用カクシ釘をご使用ください。



■調整方法

壁の不陸などにより、壁との間にすき間ができた場合は、奥行き調整材にて下図に示すように調整してください。

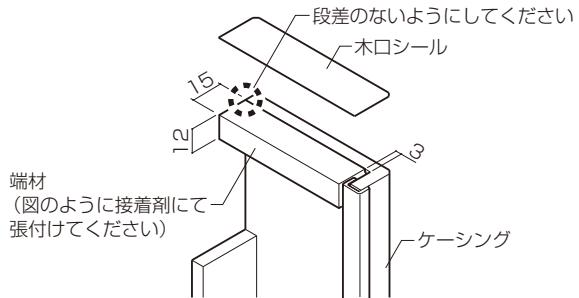


有償品の取付け

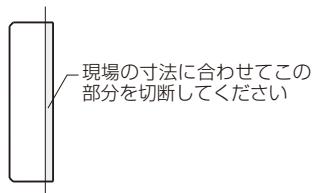
②室内仕上げ材の取付け(カバー用ケーシング納まりの場合)(つづき)

■木口テープの張付け

縦枠端部に木口テープを張り、基材の露出部を隠してください。この時、木口テープがうまく接着できるよう、端材などであらかじめすき間を埋めておいてください。



※木口シールは現場の寸法に合わせて切断してご使用ください。(奥行き調整により、若干切断寸法が変わってきますので、現場に合わせて切断してください。)



新設障子のガラスの入れ方・建込み・取付け、建付け調整

■目次

引違い窓

■ガラスの入れ方 P.37

■障子の建込み P.38

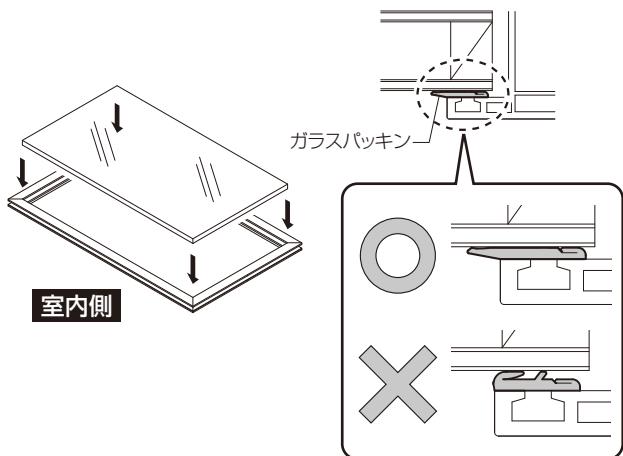
引違い窓

■ガラスの入れ方

■障子にガラスをはめ込む

●製品へ傷、汚れがつかないように養生された作業台の上で行ってください。

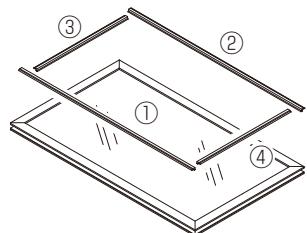
※ガラスパッキンがめくれていないことを確認してください。



■押縁挿入順序

①～④の順番に押縁を取付けます。

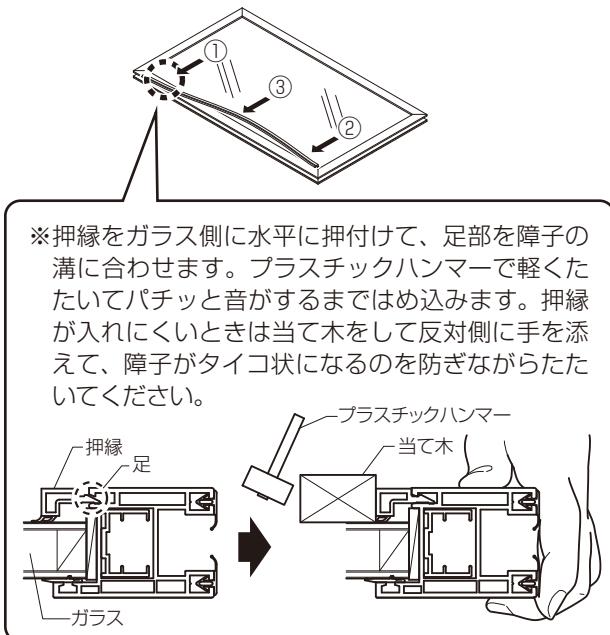
※押縁の取付けは最初に縦、最後に上・下の順で組立ててください。



■押縁の入れ方

●押縁は両端側からはめ込み、最後に中央部をはめ込むようにしてください。

※EW for Designの場合には、押縁取付け部品に同梱されている取付け説明書をご覧ください。

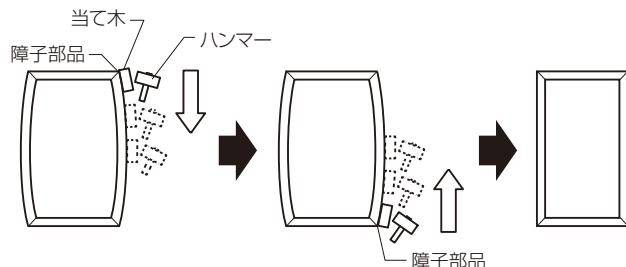


●押縁のたたき込みにより障子がタイコ状に膨らんでいる場合は、障子端部から順に中央部までハンマーでたたき、膨らみを矯正してください。このとき、必ず当て木を使用してください。

クレセントが掛からない、気密性などに支障をきたすおそれがあります。

①上端部から中央部までたたきます。

②下端部から中央部までたたきます。

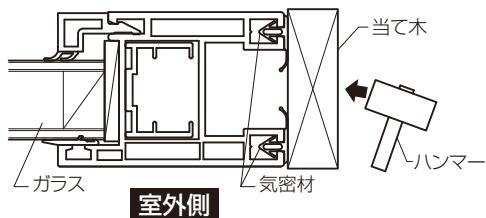


※両側とも同様の手順で矯正してください。

■障子のたたき方

●当て木を図のように押し当ててハンマーでたたきます。

※気密材に傷がつかないよう気をつけてください。



引違い窓

②障子の建込み

- 枠の室内側が軸体に固定されていることを確認してから建込みます。

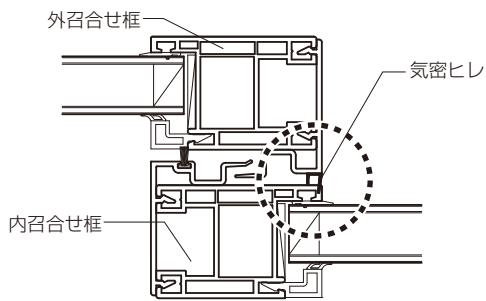
■建付け調整

2枚建・HKKの場合

■召合せ框を合わせる

- 調整をしないと性能の低下や障子のガタツキが発生するおそれがあります。

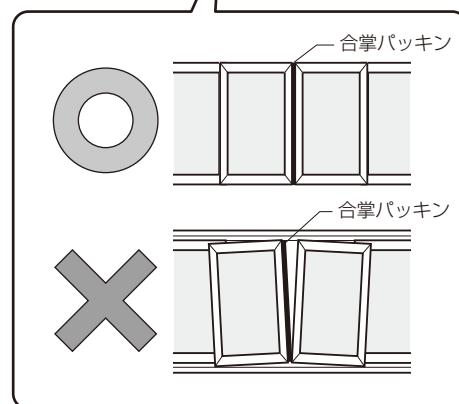
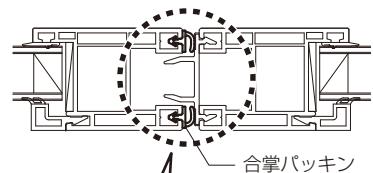
※外召合せの気密ヒレが、内召合せ框に当たるように調整してください。



4枚建の場合

■合掌框を合わせる

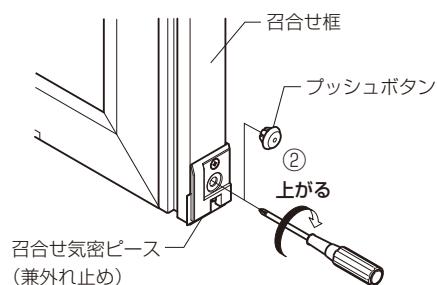
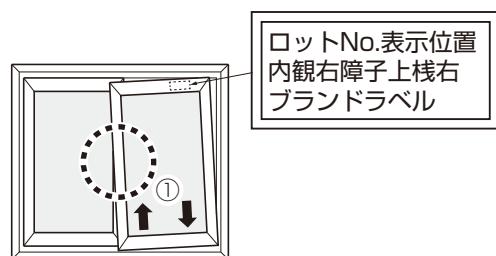
- 合掌パッキンの当たりが均一になるように調整します。調整をしないと性能の低下や障子のガタツキが発生するおそれがあります。



■戸車調整

- ①プッシュボタンを外します。(調整後は、プッシュボタンを押し込んでください。)

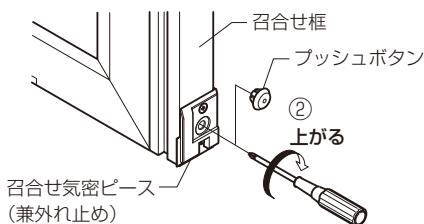
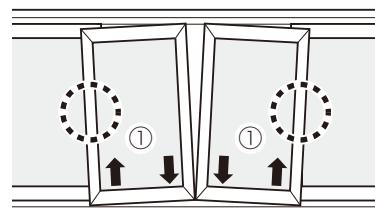
- ②プラスドライバーで中の戸車調整ねじを右に回すと障子が上に上がります。



■戸車調整

- ①プッシュボタンを外します。(調整後は、プッシュボタンを押し込んでください。)

- ②プラスドライバーで中の戸車調整ねじを右に回すと障子が上に上がります。



■召合せ框を合わせる

(調整方法は左上の **2枚建・HKKの場合** を参照してください。)

※戸当たり振れ止めクレセント調整後、再度合掌パッキンが当たっていることを確認してください。

引違い窓

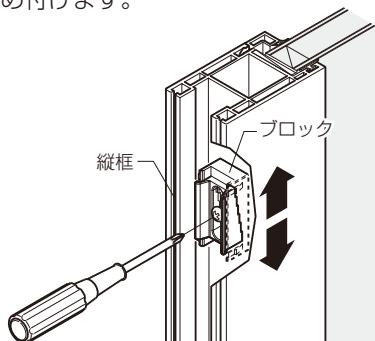
②障子の建込み(つづき)

■建付け調整(つづき)

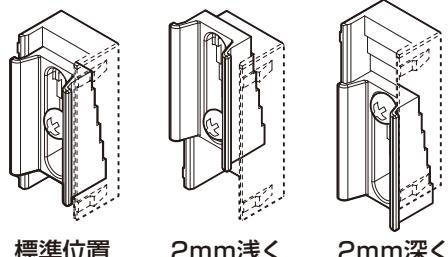
■戸当たり振止めを調整

①プラスドライバーでねじをゆるめて、ブロックを上下に動かします。

②ねじを締め付けます。



■戸当たり振止め調整位置



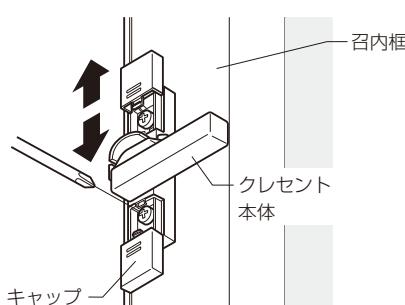
■クレセント調整

【上下方向の調整】(クレセント本体)

①キャップを外します。

②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。

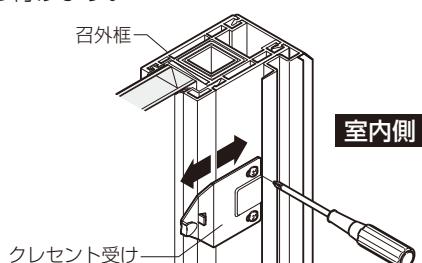
※調整後はしっかりとねじを締めて、キャップをしてください。



【左右方向の調整】(クレセント受け)

①プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。

②ねじを締め付けます。



▲注意



●必ず外れ止めを上げてください。
障子が落下するおそれがあります。

■召合せ気密ピースの調整

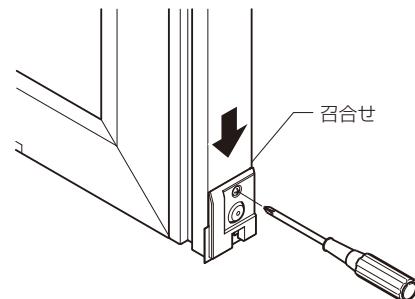
●戸車調整した場合は、召合せ下部の気密ピースも調整してください。外障子・内障子とも調整します。

①プラスドライバーでねじをゆるめます。

②気密ピースを下げてすき間をなくします。

※調整後はしっかりとねじを締めてください。

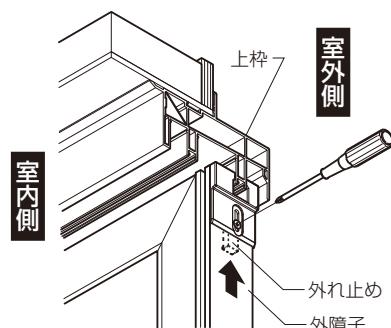
※再度戸車調整をする場合には気密ピースをいったん上げてください。



■外れ止めの調整

●プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。

※調整後はねじをしっかりと締めてください。



MEMO
